祖谷のかずら橋周辺整備構想（案）

平成 27 年3月

三好市

目次

はじめに 1

第１章　現状と課題 2
１　観光入込客数の変化から見た現状と課題 2
２　来訪者の観光行動特性から見た現状と課題 7
３　かずら橋来訪者の評価から見た現状と課題 12
４　管理・運営上の現状と課題 16
５　課題のまとめ 18

第２章　住民意向 19
１　住民懇談会及び報告会の概要 19
２　第１回住民懇談会 20
３　第２回住民懇談会 27

第３章　全体構想 35
１　かずら橋周辺の整備方針 35
２　“秘境”のイメージを高めるための方針 36
３　“秘境 祖谷”の活性化に向けたプロジェクト 37

第４章　かずら橋周辺の活性化プロジェクト 39
プロジェクト① 来訪者の動線上の“秘境感”を高める 39
プロジェクト② かずら橋夢舞台の改善を図る 42
プロジェクト③ 祖谷のかずら橋自体の更なる魅力の向上 44
プロジェクト④ かずら橋夢舞台からかずら橋周辺の質的向上 48
プロジェクト⑤ 周辺の回遊を促す 51
プロジェクト⑥ 多様な楽しみの創出（体験・食事等） 56
プロジェクト⑦ おもてなしの心の醸成 61
プロジェクト⑧ かずら橋夢舞台のターミナル機能の強化 64
プロジェクト⑨ 周辺の魅力的な資源の発掘・情報発信の強化 67

第５章　住民との協働によるリーディングプロジェクト 69
ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ① かずら橋周辺での滞在時間を伸ばす ～散策等の楽しみの創出～ 70
ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ② “秘境”祖谷を守る 74
ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ③ かずら橋までの安全なアクセスの確保 75

第６章　プロジェクトの推進に向けて（推進に向けた実行計画） 85

はじめに

三好市（以下「本市」という。）は、「観光立市」として、市の活性化・振興に力を注いでいます。特に「秘境　祖谷のかずら橋」は、全国的にも高い知名度を有しており、観光立市の核となる本市の代表的な地域資源といえます。

しかしながら、祖谷のかずら橋周辺では、近代的な施設整備が進められる一方で、空き家の増加などが生じ“秘境らしさ”の喪失や景観の悪化などが指摘されています。また、祖谷のかずら橋を止めている杉の木が近年弱まっている原因の一つとして、杉の根元にある遊歩道を兼ねる道路の舗装が雨水を通さないため、水分の補給が少なくなったためと考えられており、早急に対策を講じなければならない状況にあります。

そのため、本検討では、地域住民や来訪者の意向を踏まえつつ、「祖谷のかずら橋」における“秘境らしさ”を守ることを基本に、来訪者の利便性・快適性等の向上、景観の保全、地域住民の愛着、維持管理への配慮など、多様な視点から「祖谷のかずら橋周辺」のあり方を検討し、地域の活性化につなげていくために「かずら橋周辺整備構想」の策定を行うこととします。

第１章　現状と課題

かずら橋周辺における整備構想の検討に当たり、かずら橋周辺及び三好市における現状と課題を以下の項目から整理を行います。

１．観光入り込み客数の変化から見た現状と課題
２．来訪者の観光行動特性から見た現状と課題
３．かずら橋の来訪者の評価から見た現状と課題
４．管理・運営上の視点から見た現状と課題

１　観光入込客数の変化から見た現状と課題

（１）市全体から見たかずら橋周辺地域の観光入込客

現状（アンケート結果を含む）

■市全体の来訪者の低迷

・近年本市では、大歩危・小歩危のラフティングなど自然環境を有効活用した観光振興を図っていますが、これらの観光資源を相互に連携しながら効率的な利用を図るまでには至っておらず、本市を訪れる観光客の観光形態は、通過型、立寄り型としての色合いが強い状況にあります。

・また、「大歩危・祖谷」にあっても、中四国・関西圏以外の地域での全国的な知名度は低い状況にあり、観光へのニーズの多様化等に伴い、周辺観光地への分散化が進み、主要観光地・施設の入込客数は、低迷傾向にあります。

	施　設　名	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
観光地	奥祖谷二重かずら橋	34,169	35,170	42,255	34,708	26,806	31,383
	祖谷のかずら橋	368,826	357,766	391,097	339,949	303,189	331,634
	ラピス大歩危・石の博物館	17,203	15,656	12,305	191,901	149,402	145,556
スポーツ・レクレーション施設	龍宮崖コテージ	488	646	619	518	291	704
	かずら橋ｷｬﾝﾌﾟ村	1,142	1,059	1,430	1,175	962	938
	祖谷ふれあい公園	15,214	13,284	16,089	13,801	17,788	17,248
	祖谷渓ｷｬﾝﾌﾟ村	5,071	4,142	4,662	4,256	3,704	3,910
	奥祖谷モノレール	11,849	12,143	13,980	12,432	12,435	10,994
	イベント広場	60,030	41,183	55,655	52,623	46,750	53,064
日帰り温泉施設	いやしの温泉郷	14,354	13,592	12,689	9,859	10,418	8,423
	祖谷秘境の湯	47,330	41,137	42,791	35,197	34,164	28,874
	サンリバー大歩危	25,286	23,631	25,601	22,840	21,656	23,738
宿泊施設	いやしの温泉郷	5,562	5,367	4,693	3,797	3,779	3,025
	ホテル秘境の湯	15,468	15,558	12,736	11,526	12,580	11,431
	サンリバー大歩危	7,183	7,016	7,751	7,181	6,508	6,470
合計		629,175	587,350	644,353	741,763	650,432	677,392
市全体の観光入込客数		805,439	759,633	815,025	897,207	797,441	816,509

表　大歩危・祖谷周辺の観光入込客数

■年間約 30 万人が訪れる祖谷のかずら橋

・祖谷のかずら橋は、市全体の観光客の観光客の 1/3 となる年間約 30 万人が訪れており、本市の観光産業を支える代表的な観光地となっています。

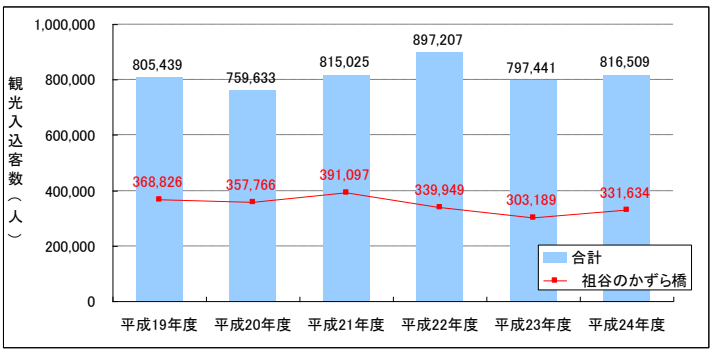


図　祖谷のかずら橋と市全体の入込客数の推

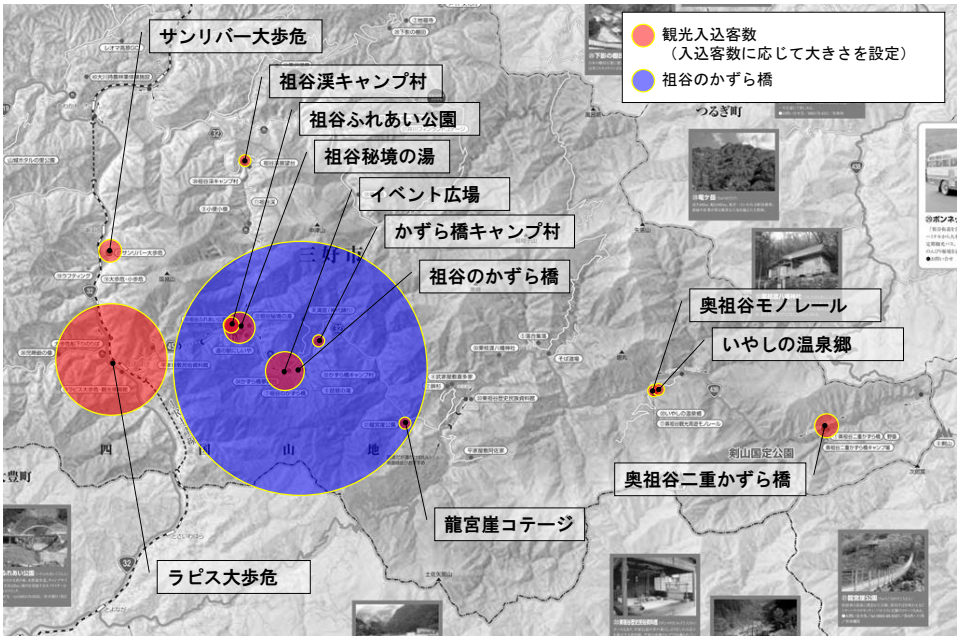


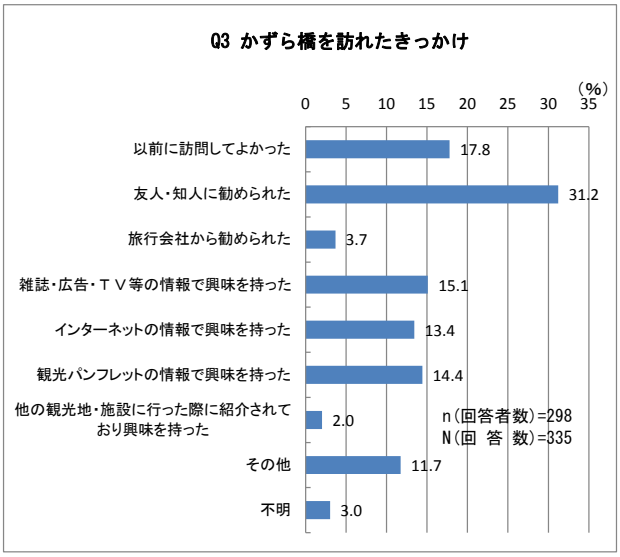
図　祖谷のかずら橋周辺の観光地と観光入込客数の状況

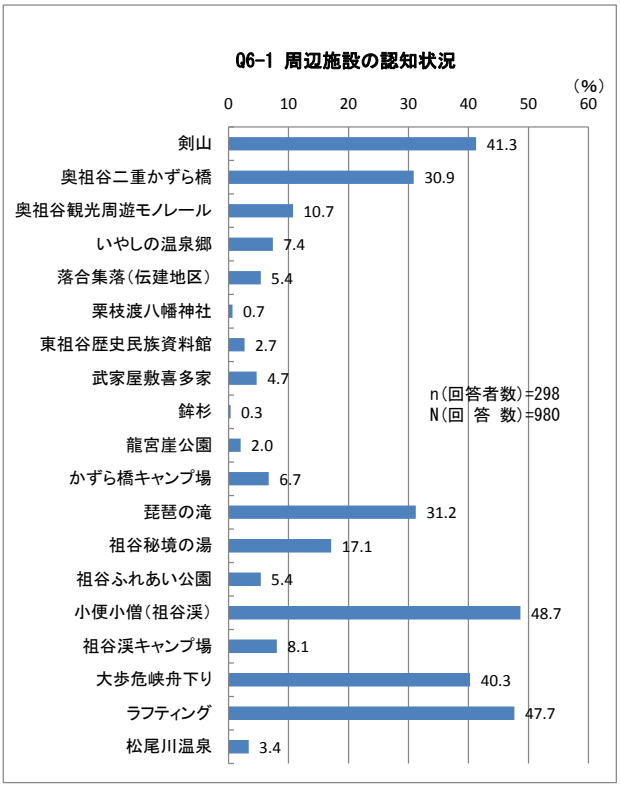
■かずら橋周辺施設の認知度が低い

・来訪者へのアンケートを見ると、かずら橋周辺の施設の認知は低い状況にあります。特に、奥祖谷の各施設・観光地の認知度が低くなっています。

■口コミの重要性

・来訪者へのアンケートにおいて、かずら橋を訪れたきっかけでは、「友人・知人に勧められた」との回答が多くなっています。





上位･関連計画からの要請

■地域経済の発展と観光

（三好市総合計画）

・三好市の地域経済は急激な人口減少と高齢化により大変厳しい状況下にあり、基幹産業である観光産業の振興は重要であり、その発展は地域経済の活性化に大きな影響をもたらします。

・このため、豊富な観光資源を活かすことのできる観光地を確立する必要があり、観光ニーズの多様化、少子高齢化など、社会構造変化に対応した、受け入れ側としての見直しを図る必要があります。

■情報発信機能の強化と秘境ブランド化の推進

（三好市総合計画）

・インターネットやマルチメディア等の情報通信技術の整備を図り、それらを活用した情報発信機能の強化を図るとともに、計画的な観光キャンペーンを実施し、三好市の主要観光地である「大歩危・祖谷」地域の秘境ブランド化を推進することが重要です。

かずら橋周辺の活性化に向けた課題

■観光資源の連携と新たな魅力の発掘･創出

・かずら橋の集客力を活かし、地域全体に波及させるため、既存の観光資源との連携強化を図るとともに、埋もれている観光資源の PR の強化、新たな観光資源の発掘や創出により、滞在・体験型の観光形態に変革させることが重要です。

■多様な情報発信の必要性

・かずら橋を訪れるきっかけとして、口コミの重要性が見て取れます。そのため、訪れた人に楽しんでいただければ、来訪者の拡大につながることを認識することが重要です。

・また、多様な媒体から情報入手している状況にあり、特に遠方の関東地方などでは観光パンフの効果が現れています。このため、口コミや雑誌・広告・TV、インターネットなど多様な情報媒体を活用することが必要といえます。

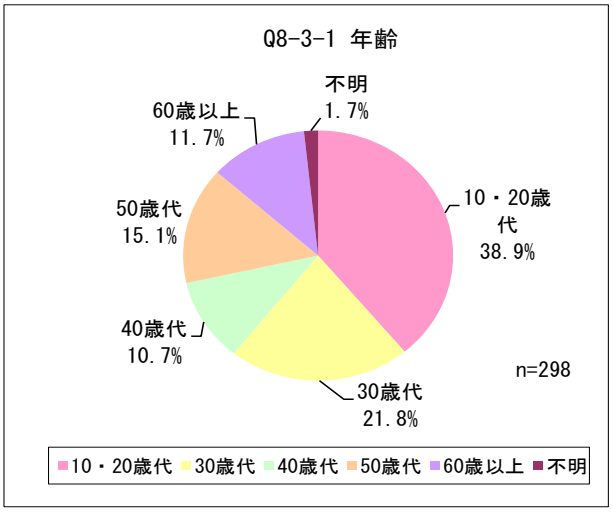
（2）かずら橋周辺の来訪者の状況

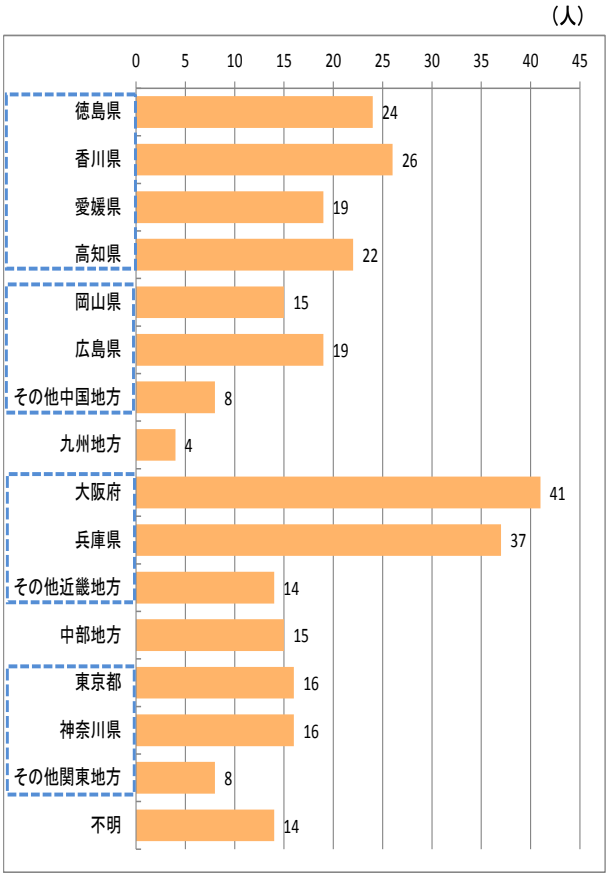
現状（アンケート結果を含む）

■幅広い年齢層で多様な地域からの訪問

・アンケート結果から見ると、かずら橋には幅広い年齢層が訪れていることが伺えます。

・また、多様な地域からの訪問があり、中四国地方はもとより、近畿圏（大阪、兵庫）からの来訪者が多数見られています。





■近県に限定されるリピーター

・かずら橋における来訪者の来訪頻度をみると、繰り返し訪れたことのある回答者（リピーター）は香川県が６割程度と多くなっているものの、徳島県では５割、愛媛県・高知県では約４割となっています。

・その他、中国・近畿地方を中心にリピーターも見られますが、それ以遠からの来訪者はほとんどが初めてとなっています。

上位･関連計画からの要請

■リーディング産業としての観光　（三好市総合計画）

・三好市は、豊富な観光資源や地理的優位性を最大限に活かし、官民の役割分担を明確に位置づけるなかで官民が一体となり、時代のニーズを的確にとらえた戦略を展開することで、観光産業を将来のリーディング産業として位置づけ、激化する地域間競争に打ち勝つことが必要です。

かずら橋周辺の活性化に向けた課題

■かずら橋周辺の活性化、魅力･景観の向上

・本市における主要な観光地であるかずら橋の観光客を増加させることが、本市全体の観光の活性化につながることが期待されます。そのため、本市の観光産業を牽引する存在として、かずら橋周辺地域の観光拠点の活性化、さらなる魅力・景観の向上が求められています。

・また、かずら橋へのリピーターは、ほぼ近隣府県に限定されていることから、中部地方以遠の地方からも何度も訪問してもらえるような、知名度や魅力の向上が望まれます。

2　来訪者の観光行動特性から見た現状と課題

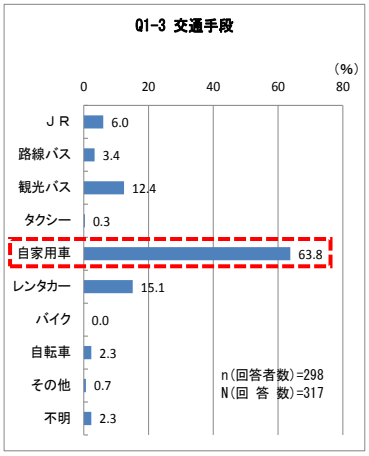
（1）来訪手段やアクセス

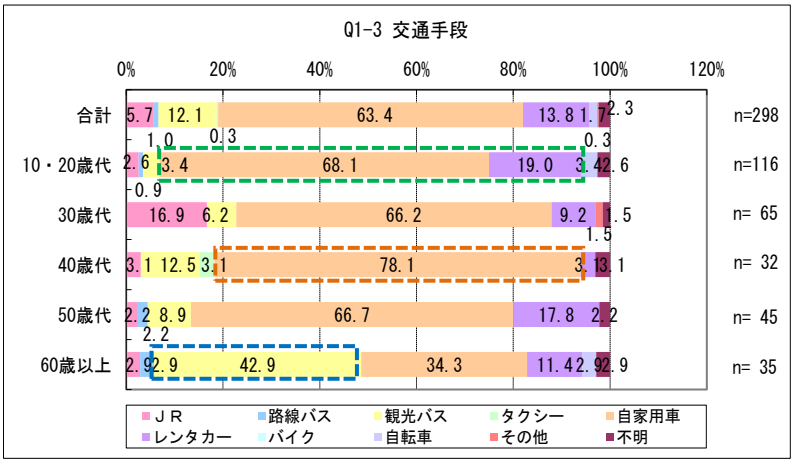
現状（アンケート結果を含む）

■車に依存したアクセス手段

・来訪者の交通手段をアンケートから見ると、自家用車が６割、レンタカーが 15%、観光バスが１割（利用者の半数は 60 歳以上）となっています。特にレンタカーの利用者は関東地方からの来訪者の利用が多くなっています。これは車でなければ訪問しにくいロケーションや環境にあることを示しています。

・また JR、路線バスなどの公共交通での来訪は１割未満であり、運行本数が極端に少なく、移動の制約が大きいためと考えられます 。



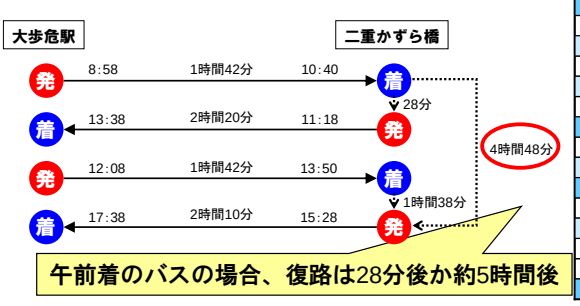


■奥祖谷への公共公共交通でのアクセスの困難性

・大歩危駅からかずら橋までのバスは、敵バスが４往復/日、休日・祝日、春休み・夏休み、GW 期間中、紅葉時期などのシャトルバスが４往復/日が運行されています。

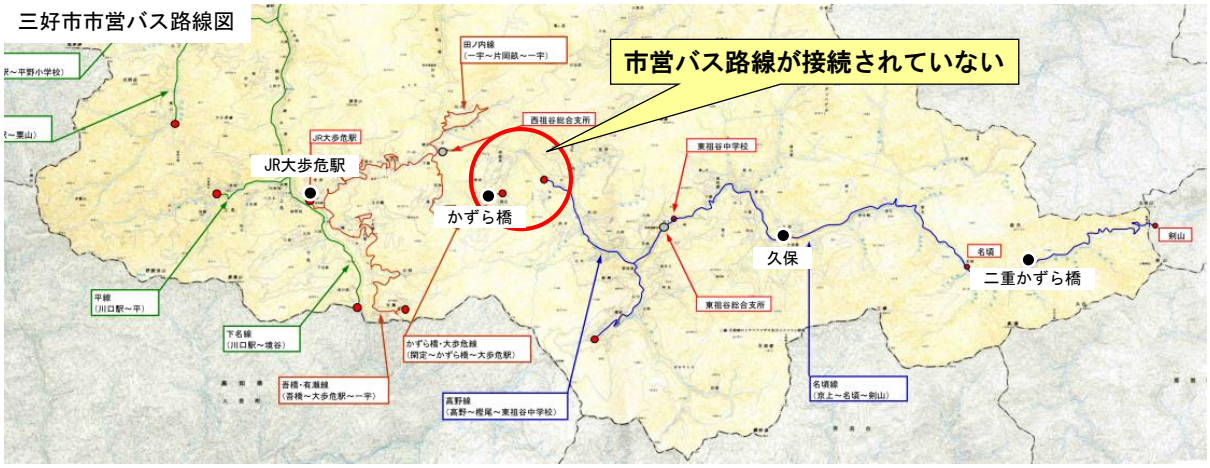
・一方、二重かずら橋にてバス運行は往復２本/日と便が少なく乗り継ぎも悪いため、観光客が利用しづらい状況にあります。

大歩危駅 ⇔ 二重かずら橋　バス運行状況



	下り				上り			
	大歩危駅	かずら橋	久保	二重かずら橋	二重かずら橋	久保	かずら橋	大歩危駅
四国交通　定期バス	8:58	9:20	10:06				8:10	8:38
市営バス　東祖谷地区			10:08	10:40				
四国交通　シャトルバス	10:05	10:27					10:30	10:58
市営バス　西祖谷地区	10:42	11:46					11:52	12:32
四国交通　シャトルバス	11:08	11:30					12:10	12:38
市営バス　東祖谷地区					11:18	11:50		
四国交通　定期バス	12:08	12:30	13:16			12:24	13:10	13:38
市営バス　東祖谷地区			13:18	13:50				
四国交通　シャトルバス	13:08	13:30					14:10	14:38
四国交通　定期バス	14:08	14:30	15:16			14:24	15:10	15:38
市営バス　西祖谷地区	14:23	15:14					15:25	16:16
四国交通　シャトルバス	15:08	15:30					16:10	16:38
市営バス　西祖谷地区	16:37	17:18※						
市営バス　東祖谷地区					15:28	16:00		
四国交通　定期バス	17:08	17:30				16:24	17:10	17:38

三好市市営バス路線図



■錯綜する歩行者と車両

・繁忙期のかずら橋は、駐車場への進入待ちによる渋滞が生じています。

・また、かずら橋夢舞台からかずら橋までのアクセス道まで、かずら橋を渡るための行例が伸びる状況が生じることがあります。かずら橋夢舞台からかずら橋までのアクセス道路は、狭隘かつ歩道が整備されていないため、歩行者と車両が錯綜し危険な状況にあります。

上位・関連計画からの要請

■観光資源相互のネットワーク化、観光地へのアクセスの改善・充実　（三好市総合計画）

・本市を訪れる観光客の観光形態は、通過型、立寄り型としての色合いが強いという課題を抱えています。この課題を解決するためには、広範囲に点在する観光資源相互のネットワーク化や、高速インターチェンジのアクセスを活かした観光地へのアクセスの改善・充実など、交通ネットワークの整備が課題となります。

■他地域への時間距離の短縮　（三好市総合計画）

・都市の発展のためには、広域交流圏域の拡大が重要な鍵となります。三好市は隣接する愛媛県（四国中央市）や香川県（高松市他）との結びつきは強く、三好市を核にした徳島県西部地域の一体

的な発展、観光振興、商業の活性化のためにも他地域への時間距離の短縮や、防災安全性の強化が求められています。

■狭隘道路の解消と幹線道路のアクセス性の向上　（三好市総合計画）

・三好市はほとんどが山地で占められ、幹線道路への取り付け道路は幅員が狭く、線形に難があるなど、他地域との交流や観光地へのアクセスにはたいへん不利な状況にあります。観光の活性化や商業の活性化を図るためには、狭隘道路の解消と幹線道路のアクセス性の向上などが交通上の課題となっています。

かずら橋周辺の活性化に向けた課題

■公共交通の充実

・かずら橋周辺は山間部であり、車でなければ訪問しにくいという立地条件であるとともに、バスの乗り継ぎの便が悪く、自家用車やレンタカーでの訪問に限られています。そのため、さらなる集客に向けては公共交通の乗り継ぎの利便性をよくするなど、多様な訪問手段の充実・改善が求められています。

■かずら橋夢舞台の活用

・現在、かずら橋夢舞台はかずら橋周辺における貴重な自家用車・バスの停車場となっており、大勢の来訪者に対応するとともに、渋滞解消等に寄与しています。今後は、かずら夢舞台を中心に東祖谷との連携強化を図るなど、来訪者のニーズに応じた交通体系の構築を図る必要があります。

■アクセス道路の改良、案内・誘導方策の充実

・かずら橋周辺のアクセス道路については、利用者の利便性の向上と安全性の確保に向けた、整備・充実が求められています。

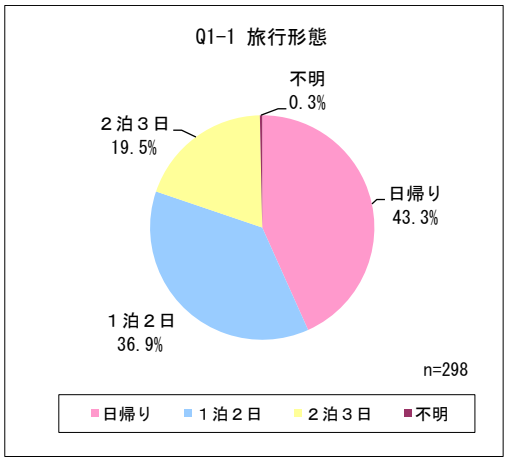
・また、地域外から来た初めての訪問者や外国人にもわかりやすい案内・誘導方策の見直しと充実が必要となっています。

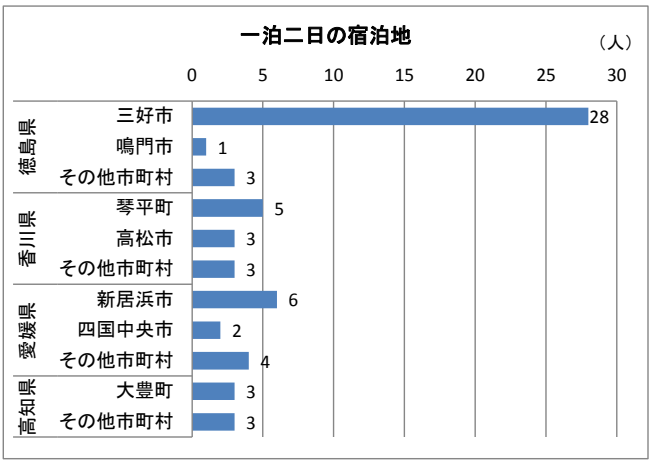
（2）宿泊・滞在

現状（アンケート結果を含む）

■短期の周遊における宿泊地

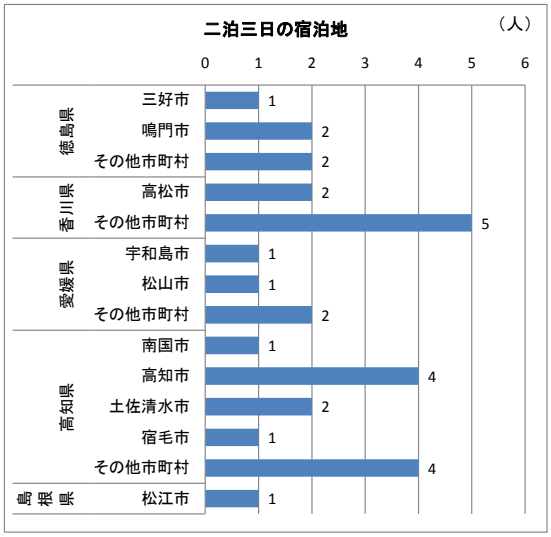
・来訪者アンケート（休日に実施）による旅行形態をみると、宿泊を伴う来訪者が６割弱となっています。そのうち一泊二日の短期滞在の来訪者の宿泊地としては、三好市内が半数近くを占めています。

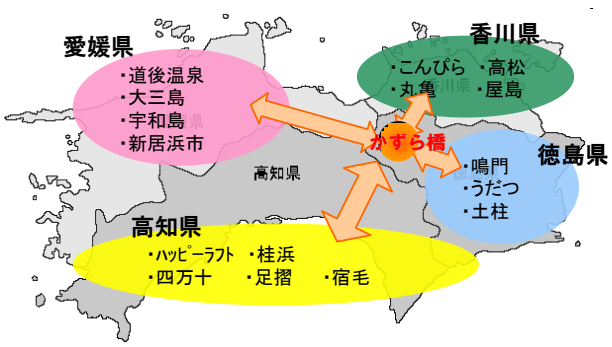




■長期の周遊における通過地

・二泊三日の来訪者については、宿泊地が四国のさまざまな場所となっており、四国を周遊する長期滞在では、かずら橋や三好市は通過地となっていることがうかがえます。





上位･関連計画からの要請

■観光ルートの設定と滞在･体験型観光への転換　（三好市総合計画）

・市内に点在する観光施設を効果的に利用するために、地域別・目的別観光ルートの設定や、豊かな観光地としてのイメージアップを図るとともに、高速インターチェンジのアクセスを活かした観光交流ゾーンの統一に向けた取り組みや、グリーンツーリズム等を活用した滞在・体験型観光への転換を図りながら、エージェントとの提携によるニーズにあった商品化を目指し、集客増大への実現化に努めます。

■かずら橋周辺の活性化に向けた課題

■滞在型観光に向けた連携強化

・短期滞在の場合は市内での宿泊がみられるが、長期滞在の場合は市外で宿泊される傾向にあります。市内での周遊を促し宿泊場所として選ばれるために、市内既存資源の連携、周辺市町（にし阿波観光圏など）との連携強化が求められています。

■宿泊を伴う来訪者の確保

・観光産業を地域経済の活性化につなげていくためにも、宿泊客の増加を図ることが重要です。既存宿泊施設の情報発信の強化に努めるとともに、にし阿波観光圏との連携強化による観光ルートの設定等により、滞在型・回遊型の観光を促すことが重要です。

3　かずら橋来訪者の評価から見た現状と課題

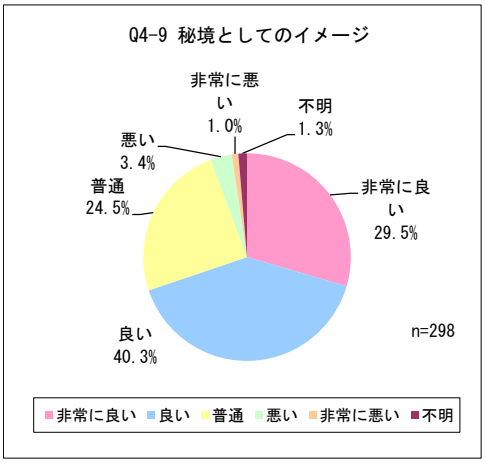
（1）秘境のイメージ

現状（アンケート結果を含む）

■秘境のイメージに対する高い評価

・アンケート調査における『かずら橋周辺の秘境としてのイメージ』については、７割程度の来訪者から高い評価を受けています。

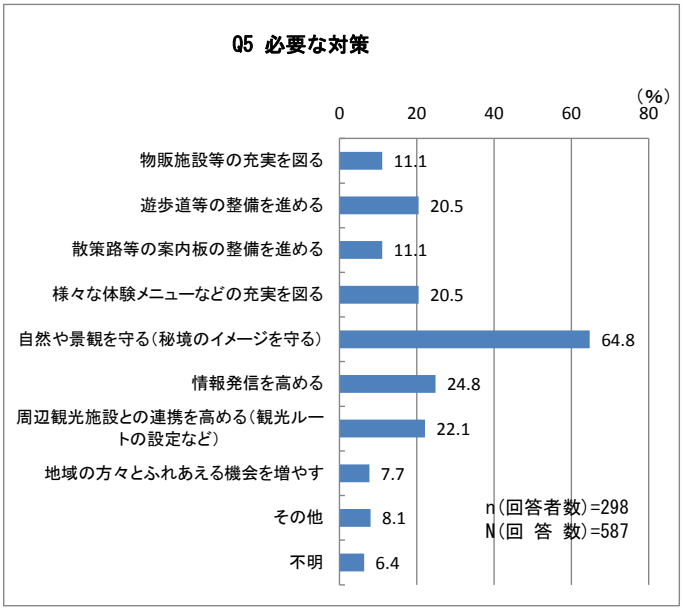
・一方、地域住民等からは、「秘境としてのイメージが喪失されつつある」との意見があげられるほか、一部の来訪者の中にも「観光地化している」、「施設が充実している分、秘境感がない」などの意見も見られています。



■自然や景観を守ることが求められている

・アンケート調査の質問のうち、『かずら橋周辺がより良い観光地となるために必要な対策』については、「自然や景観を守る（秘境のイメージを守る）」が約 65%と圧倒的に多くなっています。

・特に、関東・関西等からの来訪者にその傾向が強く、かずら橋には非日常の空間を求めていることがうかがえます。



上位・関連計画からの要請

■観光ルートの設定と滞在・体験型観光への転換

（三好市景観計画：歴史的風致ゾーンⅠ（祖谷渓谷と平家落人伝説に関する区域））

・斜面地集落のある落合地区を中心として、多くの歴史的・文化的な資源を有しており、それらが周囲の豊かな自然と共に人々の生業も含めて、まとまりをもってつながり続けることをめざします。

■求められる景観づくり　（三好市景観計画）

・雄大な自然景観を保全し、その眺めを守り育てていくこと。

・社会情勢の変化により失われつつある、特徴ある歴史的・文化的な景観を守り、育てていくための十分な仕組みを、できるだけ早急に整えること。

・地域全体で一丸となって良好な景観づくりを進めるにあたって、関係者それぞれが主体的意識をもって、連携した取組みができるような仕組みの整備。

・市内に存在するさまざまな景観資源や、それらの魅力を高めるための景観的な配慮についての把握・検討。

・地域づくりにおいて、これからは“観光・交流”の視点がますます重要となることから、地域を結びつなげる交流軸の景観の整備が必要。

かずら橋周辺の活性化に向けた課題

■秘境のイメージを守る

・来訪者にとって、かずら橋周辺は「秘境」として良いイメージを持っていますが、地元住民等からは以前より秘境らしさが失われたという意見もみられます。そのため、祖谷のかずら橋周辺がめざす「秘境」の定義を明確にし、“秘境かずら橋”のイメージを守るという共通認識を高めることが必要です。

日本三大秘境	日本三大奇橋　※諸説により４橋
○白川郷（岐阜県大野郡白川村） ○椎葉（宮崎県東臼杵郡椎葉村） ●祖谷（徳島県三好市）	○錦帯橋（山口県岩国市） ○猿橋（山梨県大月市） ○神橋（栃木県日光市） ●かずら橋（徳島県西祖谷山村）

■周辺環境とのつながり･調和

・かずら橋周辺のめざすべき景観のすがたとして、豊かな自然と共に人々の生業も含めて、まとまりをもってつながり続けることが位置づけられています。また、アンケートには「秘境を前面に押し出すのなら、周辺（売店）も調和させるべきでは」などの意見もあり、かずら橋のみならず周辺との調和を重視した景観形成が求められています。

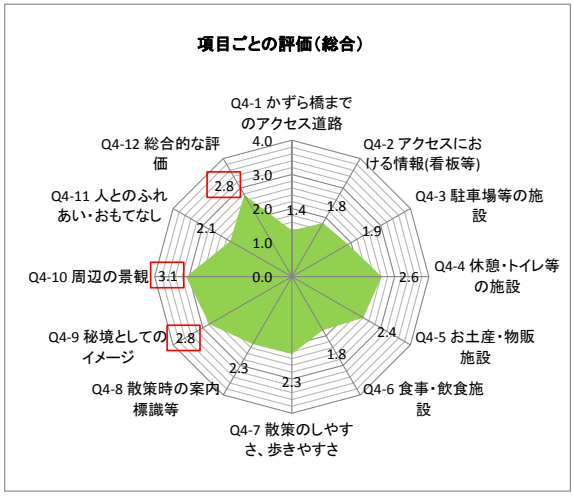
（2）各項目の評価

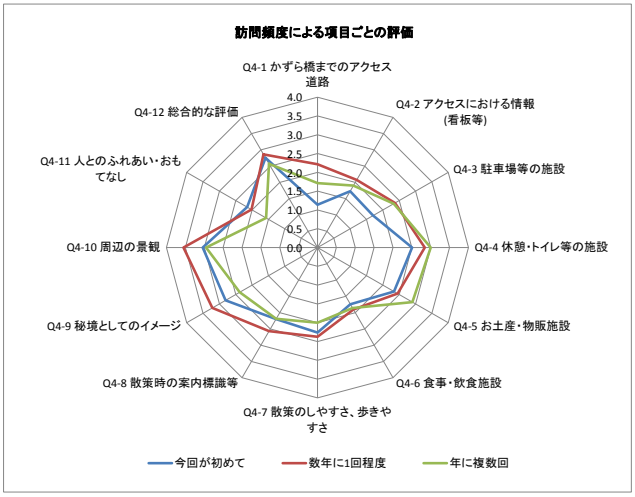
現状（アンケート結果を含む）

■全体的に高評価、アクセス道等に不満

・かずら橋の評価については、「非常に悪い」や「悪い」という評価は少なく、多くの項目で高い評価を得ています。

・評価が低かった項目をみると、「かずら橋までのアクセス道路」や「アクセスにおける情報」、「食事・飲食施設」、「人とのふれあい・おもてなし」となっています。これらの項目は、特に「年に複数回」訪れるリピーターが低い点数をつける傾向にあります。





上位・関連計画からの要請

■自然環境に配慮した観光施設整備の推進　（三好市総合計画）

・周辺住民や観光客からの意見に配慮し、既存観光資源の見直しや周辺の自然環境に配慮した観光施設・景観整備を推進します。

■ホスピタリティ精神の醸成　（三好市総合計画）

・広報活動や、各種研修・学習活動を通じて市民に対する市内観光資源のさらなる周知等を行い、三好市民総合観光大使や観光ガイド・ボランティアの養成を推進し、市民のホスピタリティ精神の醸成に努めます。

かずら橋周辺の活性化に向けた課題

■高い評価の維持

・アンケート調査結果において、高い評価を受け、かつ上位関連計画に位置づけられた以下の項目について、さらなる満足度の向上や維持に努めることが求められています。

- ✓ 秘境らしさ、周辺景観の美しさの保全
- ✓ 周辺と調和の維持
- ✓ 休憩・トイレ等の施設の清潔さなどの維持、お土産・物販施設の維持・充実

■低い評価の改善･充実

・アンケート調査結果において、評価が低く、かつ上位関連計画に位置づけられた以下の項目について、その改善と充実が求められています。

- ✓ 高齢者に対する散策時の分かりやすい案内・誘導
- ✓ 雨天時に滑りにくい散策路と高齢者にも安全な歩車分離などの工夫
- ✓ 食事・飲食施設については多様なメニューや席数の増加
- ✓ おもてなし精神による、心を込めたサービスの充実

・また、かずら橋までのアクセス道路については、初めて来る人の評価が低く、道路の改良整備とわかりやすい案内・誘導の工夫が求められています。

4　管理・運営上の現状と課題

現状（アンケート結果を含む）

■ピーク時の著しい混雑

・かずら橋は、多くの観光客を集めているため、季節や時間帯のピークによって、渋滞や行列ができるなど混雑が発生しています。

■冬季における歩行者の転倒

・かずら橋周辺地域は、山間部のため冬季に積雪が見られます。また、かずら橋夢舞台からかずら橋までの道路が急勾配であり、道路が凍結し、歩行者の転倒等の危険が指摘されています。

■かずら橋を支える樹木の弱体化

・かずら橋は年間約 33 万人の観光客が訪れていますが、老朽化が進むことから 3 年に一度架け替えを行っています。一方で、かずら橋を支える樹木については、手入れ等の不足により近年弱体化の傾向にあるとの指摘があります。

■祖谷入口の茅葺屋根の対策の必要性

・旧料金所跡の茅葺屋根は、来訪者に対して秘境のイメージを発信する玄関口となっています。しかしながら、茅葺屋根の老朽化が進み、早期の対策が求められています。

上位・関連計画からの要請

■かずら橋等の適正な保存・継承　（三好市歴史的風致維持向上計画）

・伝統的建造物である「蔓橋」や「茅葺き屋根の古民家」の保存継承には伝統技術者の養成と資材の確保が不可欠です。蔓橋の架け替え技術は３年毎に伝統的な方法で架け替え作業を行うことにより継承を図ります。資材であるシラクチカズラの確保は、地元実行委員会により苗木の育成保護により保存に努めます。茅葺き屋根の葺き替え技術や資材の確保についても地元保存会等で体験塾を開催し、その継承に努めます。今後も関係団体と連携し、架け替え事業、葺き替え事業にあわせて現地研修会を実施し、伝統技術の継承と資材の確保に取り組みます。

かずら橋周辺の活性化に向けた課題

■安全性の確保

・大勢の観光客が訪れるかずら橋周辺において、混雑時や冬季における安全性の確保はさらなる観光客の増加に向けた課題となります。

■適切な維持管理

・本市における貴重な観光資源であり、地域の財産であるかずら橋について、かずら橋を支える樹木の弱体化が発生しており、適切な維持管理に向けた体制づくりや方策検討が求められます。

・また、祖谷入口の茅葺屋根の改修などに取組む必要があります。

5　課題のまとめ

かずら橋周辺の活性化に向けた課題を以下のようにまとめます。

視点		かずら橋周辺の活性化に向けた課題
1 観光入り込みの変化	（1） 市全体から見たかずら橋周辺地域の観光入込客	■観光資源の連携と新たな魅力の発掘・創出
		■多様な情報発信
	（2） かずら橋周辺の来訪者の状況	■かずら橋周辺の活性化、魅力・景観の向上
2 来訪者の観光行動特性	（1） 来訪手段・アクセス	■公共交通の充実、かずら橋夢舞台の活用
		■アクセス道路の充実、案内・誘導方策の充実
	（2） 宿泊・滞在	■滞在型観光に向けた連携強化
		■宿泊を伴う来訪者の確保
3 来訪者の評価	（1） 秘境のイメージ	■秘境のイメージを守る
		■周辺環境とのつながり・調和
	（2） 各項目の評価	■高い評価の維持
		■低い評価の改善・充実
4 管理・運営上		■安全性の確保
		■適切な維持管理

第２章　住民意向

本構想の検討に当たっては、実効性のある計画としていくため、住民懇談会を開催し、きめ細やかな地域住民の意向把握に努ました。

１　住民懇談会及び報告会の概要

住民懇談会は、下記に示すテーマにて２回開催し、関係団体や地域住民の代表者等から多様な意見を伺いました。また、住民懇談会にていただいた意見をもとに検討を行ったかずら橋周辺の整備構想（案）に関する報告会を開催し、更なる意見交換を行いました。

■開催概要

	開催日	参加者数
第１回住民懇談会	H26.4.15	14 名
第２回住民懇談会	H26.6.24	10 名
報告会	H27.2.26	8 名

■テーマ

第１回（平成26年4月15日）

「秘境「祖谷のかずら橋」の将来像」

・祖谷のかずら橋周辺の誇れる地域資源や取組、改善したい課題、さらには、秘境「祖谷のかずら橋」周辺の将来像について、ご意見をおうかがいしました。

第２回（平成26年6月24日）

「秘境を楽しむために必要な取組」

・第１回の住民懇談会の意見を踏まえ、祖谷のかずら橋周辺において「秘境」を楽しむために必要な対策についてご意見をおうかがいしました。

報告会（平成２７年２月26日）

・今回の検討結果のとりまとめについて報告させていただき、更なるご意見等をいただきたいと考えています。

2　第１回住民懇談会

第１回の住民懇談会では、誇れる資源や改善すべき資源等、かずら橋周辺の将来像について意見交換を行いました。

（1）概要

■開催概要

開催日）平成 26 年 4 月 15 日　　参加者数）14 名

テーマ「秘境「祖谷のかずら橋」の将来像」

説明

■祖谷のかずら橋の現状
- 祖谷のかずら橋周辺の観光客数
- 来訪者アンケートの結果　　等

■意見交換の進め方
- 意見交換の進行方法等について

意見交換

■秘境「祖谷のかずら橋」の将来像
- 誇れる資源等…「秘境」を体現している地域資源・取組
- 改善すべき資源等…イメージを阻害する要因　等
- 将来像（ｷｬｯﾁﾌﾚｰｽﾞ）及び目標

■懇談会の様子

（2）各班の結果

A班

【将来像（案）】

千年先も“秘境”であるために

祖谷川の美しい水をはじめ、かずら橋周辺の豊かな自然環境は、長い年月の間、変わらずに守られてきたものと言えます。これらの地域住民や来訪者にとっての財産であるとの認識のもと、将来に渡って「秘境」のイメージを守り引き継いでいくことをめざしていきます。

【目標（案）】

①豊かな自然を守り、自然とふれあえる場の創出（変わらないものを守り続ける）

②夢舞台を核とした多様な楽しみの創出（夢舞台から始まる夢物語）

③訪れる人・住んでいる人がともに笑顔となるふれあいの場

④何度でも訪れたくなる“こだわりの秘境”の演出（リピーターの確保）

⑤

周辺の景観

美しい自然景観
・建築物等が少なく、美しい自然の景観が広がっている

空き家などの景観阻害要因
・空き家・空き店舗などによる寂れたイメージ
・空き家・空き店舗などについて貸してもらうよう依頼したことがあるものの、うまく進まなかったことがあり
・個人の持ち物であり貸与などが進まない

眺望の阻害
・アクセス道路などにおいて道路沿いの樹木が生い茂り眺望を阻害している

ゴミの問題
・アクセス道路沿いにおけるゴミの不法投棄（祖谷街道沿い、祖谷美人の周辺等）

周辺の緑

記念植樹などの取組み
・桜や紅葉などの植樹の取組み（年１回）

針葉樹が多い
・かずら橋周辺やアクセス道路において針葉樹が多くなっている

祖谷のかずら橋を学ぶ

かずら橋に関する情報発信不足
・かずら橋の架け替えなどの様子などをPRしていない

夜間の楽しみ

かずら橋のライトアップ
・宿泊者などへの夜のかずら橋の楽しみの提供

美しい星空
・夜間の美しい星空

かずら橋のライトアップ
・街灯が明るすぎてライトアップの幻想的なイメージが損なわれている
・ライトアップが限られた範囲であり、琵琶の滝の方まで散策することができない

地域の資源を活かした体験

かずら橋ならではの資源
・かずら細工（かご）
・つづらかずら

豊かな自然資源
・豊かな山の資源（山菜採り）

駐車場からかずら橋までのアクセス路

歩行者の危険性
・歩道がないため危険な状況にある
・道幅が狭い
・勾配がきついため車いすでの利用ができない

おもてなし

住民の意識
・一部の住民には、観光が自分の生活には関係ないとの意識があり

地域の人との交流の場の不足
・地域の歴史などを説明してくれる人などがいない

生活を感じる観光

祖谷の暮らし
・傾斜地での生活
・畑作業の風景

地域産品等の活用

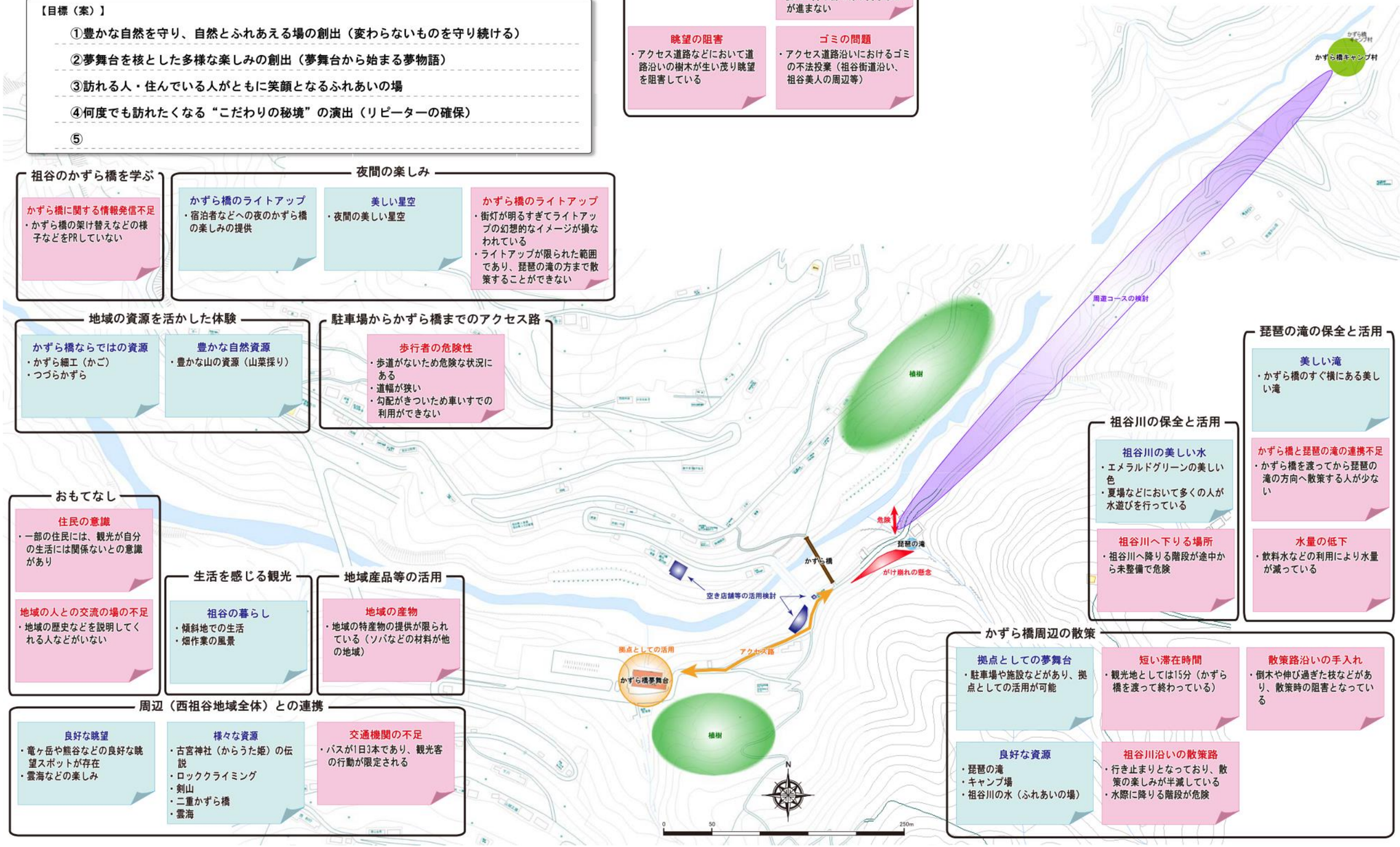
地域の産物
・地域の特産物の提供が限られている（ソバなどの材料が他の地域）

周辺（西祖谷地域全体）との連携

良好な眺望
・竜ヶ岳や熊谷などの良好な眺望スポットが存在
・雲海などの楽しみ

様々な資源
・古宮神社（からうた姫）の伝説
・ロッククライミング
・剣山
・二重かずら橋
・雲海

交通機関の不足
・バスが1日3本であり、観光客の行動が限定される



琵琶の滝の保全と活用

美しい滝
・かずら橋のすぐ横にある美しい滝

かずら橋と琵琶の滝の連携不足
・かずら橋を渡ってから琵琶の滝の方向へ散策する人が少ない

水量の低下
・飲料水などの利用により水量が減っている

祖谷川の保全と活用

祖谷川の美しい水
・エメラルドグリーンの美しい色
・夏場などにおいて多くの人が水遊びを行っている

祖谷川へ下りる場所
・祖谷川へ降りる階段が途中から未整備で危険

かずら橋周辺の散策

拠点としての夢舞台
・駐車場や施設などがあり、拠点としての活用が可能

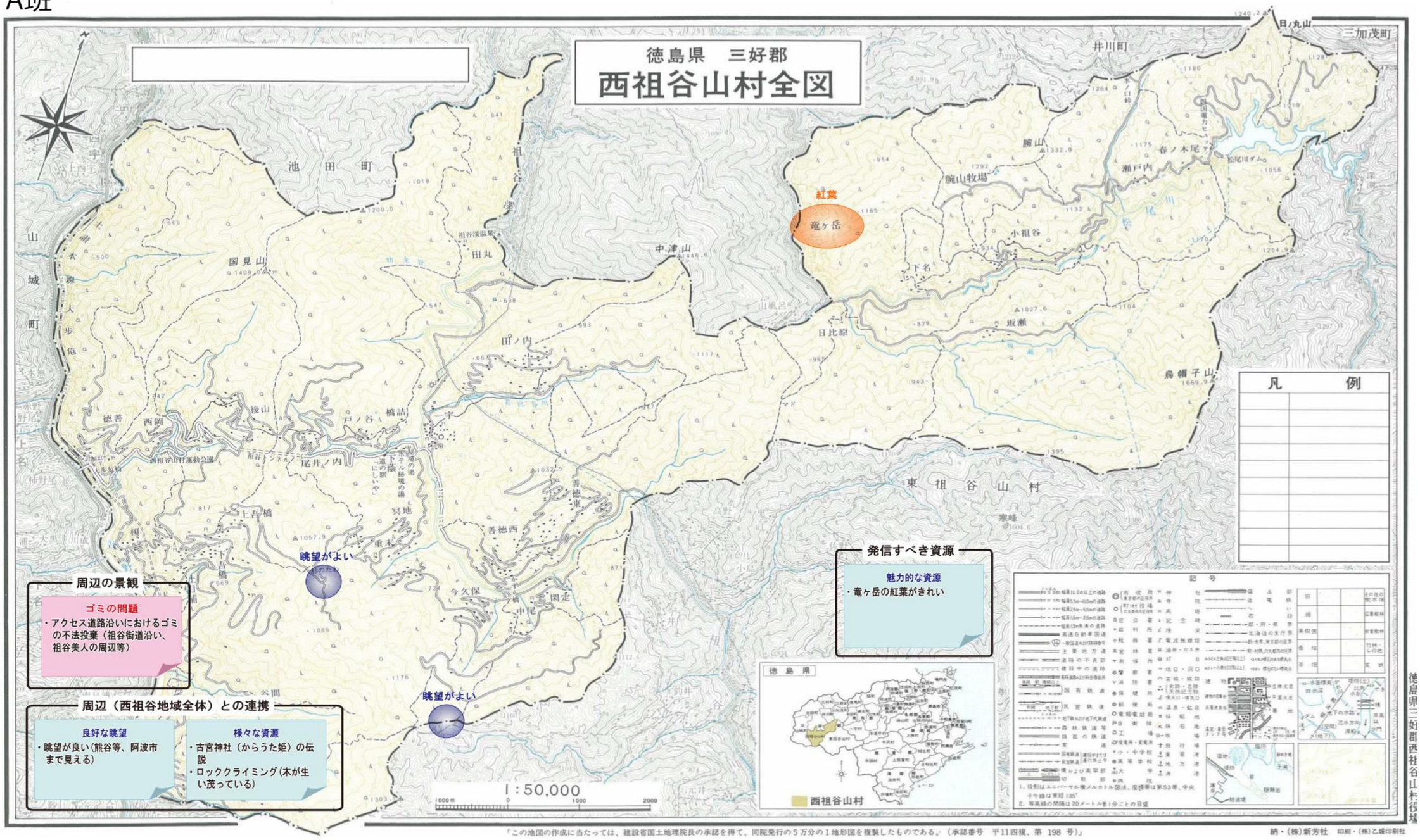
短い滞在時間
・観光地としては15分（かずら橋を渡って終わっている）

散策路沿いの手入れ
・倒木や伸び過ぎた枝などがあり、散策時の阻害となっている

良好な資源
・琵琶の滝
・キャンプ場
・祖谷川の水（ふれあいの場）

祖谷川沿いの散策路
・行き止まりとなっており、散策の楽しみが半減している
・水際に降りる階段が危険

A班


徳島県　三好郡
西祖谷山村全図
凡　例
紅葉
竜ヶ岳
眺望がよい
眺望がよい
周辺の景観
ゴミの問題
・アクセス道路沿いにおけるゴミの不法投棄（祖谷街道沿い、祖谷美人の周辺等）
周辺（西祖谷地域全体）との連携
良好な眺望
・眺望が良い（熊谷等、阿波市まで見える）
様々な資源
・古宮神社（からうた姫）の伝説
・ロッククライミング（木が生い茂っている）
発信すべき資源
魅力的な資源
・竜ヶ岳の紅葉がきれい
1：50,000
西祖谷山村
池田町
井川町
三加茂町
東祖谷山村
「この地図の作成に当たっては、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の５万分の１地形図を複製したものである。（承認番号　平11四複、第 198 号）」
納・(株)新芳社　印刷・(株)乙嬢印刷社
徳島県三好郡西祖谷山村役場

B班

【将来像（案）】

秘境 祖谷の宝を後世に繋ぐ、若者が集う魅力ある地域づくり

経済成長に伴い、働く場や生活環境の整った都市部へ人口が流出したため、かずら橋周辺では過疎となり地域の活力が衰退してきています。そのため、秘境祖谷の宝である“かずら橋”周辺を中心に地元出身者だけでなく初めて訪れる人が住んでみたいと思う魅力づくりに取り組みます。

【目標（案）】

①整える・・・訪れる人をもてなす環境を整備する

②発信する・・・かずら橋をはじめとした地域の魅力を積極的に発信する

③掘り起こす・・・埋もれた地域の資源や新たな活動を掘り起こす

④守り育てる・・・豊かな自然や歴史・文化、人々の営み、景観を守り育てる

⑤

豊かな自然

豊かな自然
- 水がきれい（琵琶の滝）
- 自然が豊か
- 琵琶の滝

放置された植栽
- 杉の木が多すぎる（手入れしてないから）

鳥獣による被害
- 鹿が多すぎる
- 花の種をまいたが鹿に食べられる

自然・花

山々の草・花
- 祖谷は紅葉だけでなく、3月から福寿草、4月中頃山桜、こぶし等の花が次々と咲く（春の花、山の花をもっとPR）

山の中を巡る散策道の不足
- 昔の山道が崩れている
- ウォーキング道として整備して欲しい（一周できる良い観光滞在型になる）
- 昔の学校道（かずら橋まで徒歩3分）を整備して欲しい

重要な歴史的資源

かずら橋周辺を代表する資源
- 奥祖谷の二重かずら橋
- 落合集落
- かずら橋の架け替え作業（伝統文化）

魅力を阻害する要因
- コンクリートの建物、秘境感あるのか
- 駐車場の柱

歴史・文化

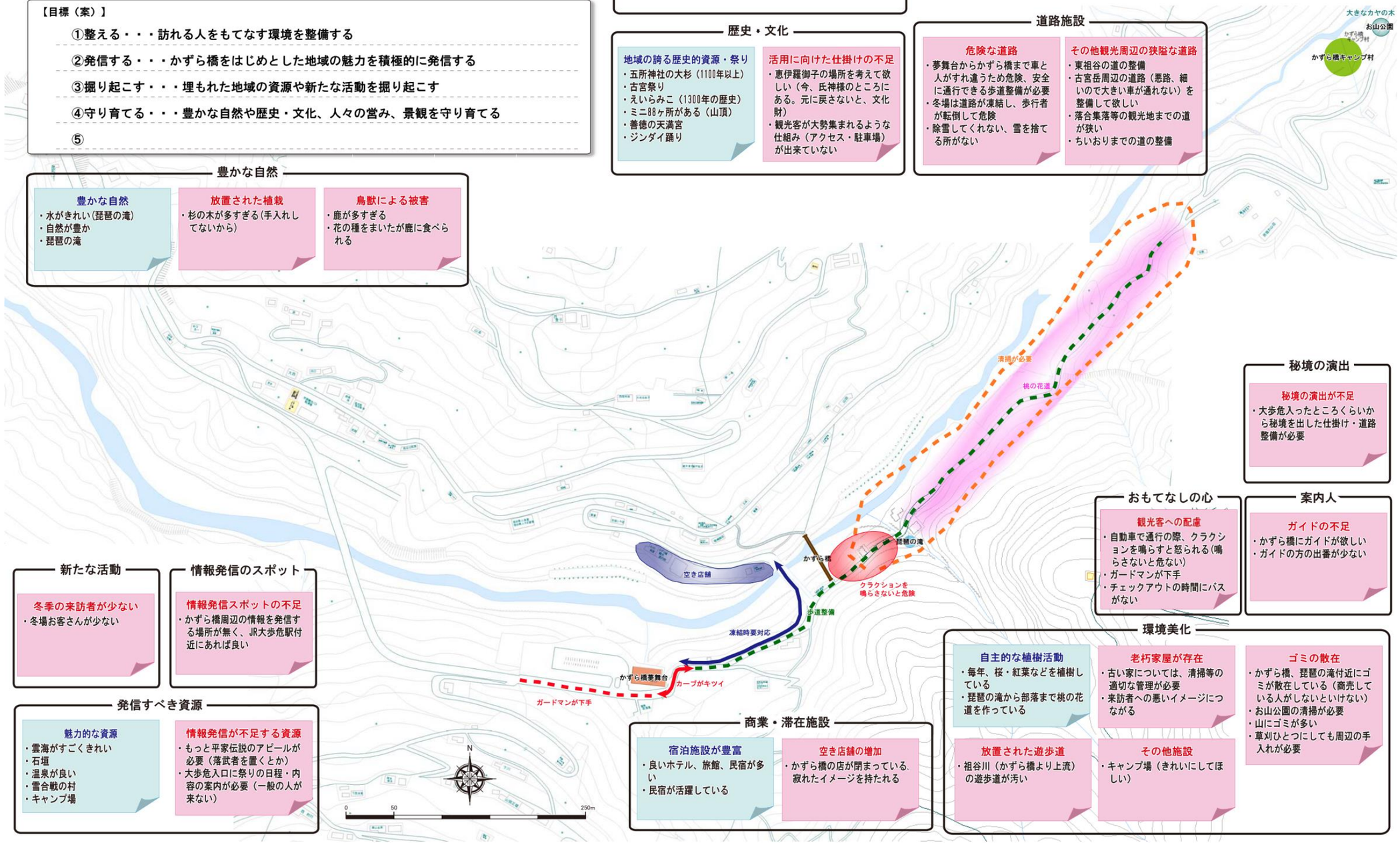
地域の誇る歴史的資源・祭り
- 五所神社の大杉（1100年以上）
- 古宮祭り
- えいらみこ（1300年の歴史）
- ミニ88ヶ所がある（山頂）
- 善徳の天満宮
- ジンダイ踊り

活用に向けた仕掛けの不足
- 恵伊羅御子の場所を考えて欲しい（今、氏神様のところにある。元に戻さないと、文化財）
- 観光客が大勢集まれるような仕組み（アクセス・駐車場）が出来ていない

道路施設

危険な道路
- 夢舞台からかずら橋まで車と人がすれ違うため危険、安全に通行できる歩道整備が必要
- 冬場は道路が凍結し、歩行者が転倒して危険
- 除雪してくれない、雪を捨てる所がない

その他観光周辺の狭隘な道路
- 東祖谷の道の整備
- 古宮岳周辺の道路（悪路、細いので大きい車が通れない）を整備して欲しい
- 落合集落等の観光地までの道が狭い
- ちいおりまでの道の整備



秘境の演出

秘境の演出が不足
- 大歩危入ったところくらいから秘境を出した仕掛け・道路整備が必要

おもてなしの心

観光客への配慮
- 自動車で通行の際、クラクションを鳴らすと怒られる（鳴らさないと危ない）
- ガードマンが下手
- チェックアウトの時間にバスがない

案内人

ガイドの不足
- かずら橋にガイドが欲しい
- ガイドの方の出番が少ない

新たな活動

冬季の来訪者が少ない
- 冬場お客さんが少ない

情報発信のスポット

情報発信スポットの不足
- かずら橋周辺の情報を発信する場所が無く、JR大歩危駅付近にあれば良い

発信すべき資源

魅力的な資源
- 雲海がすごくきれい
- 石垣
- 温泉が良い
- 雪合戦の村
- キャンプ場

情報発信が不足する資源
- もっと平家伝説のアピールが必要（落武者を置くとか）
- 大歩危入口に祭りの日程・内容の案内が必要（一般の人が来ない）

商業・滞在施設

宿泊施設が豊富
- 良いホテル、旅館、民宿が多い
- 民宿が活躍している

空き店舗の増加
- かずら橋の店が閉まっている、寂れたイメージを持たれる

環境美化

自主的な植樹活動
- 毎年、桜・紅葉などを植樹している
- 琵琶の滝から部落まで桃の花道を作っている

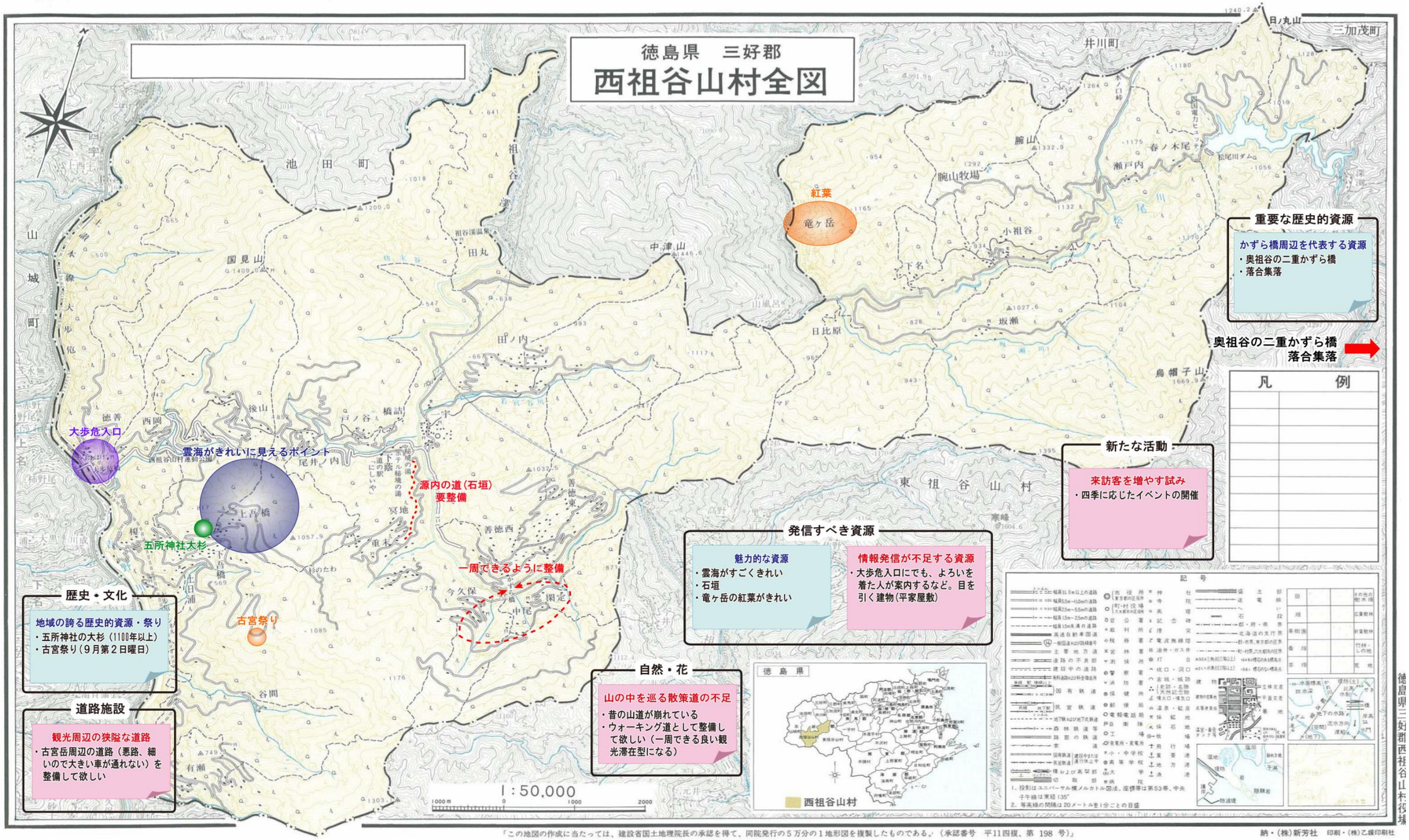
老朽家屋が存在
- 古い家については、清掃等の適切な管理が必要
- 来訪者への悪いイメージにつながる

ゴミの散在
- かずら橋、琵琶の滝付近にゴミが散在している（商売している人がしないといけない）
- お山公園の清掃が必要
- 山にゴミが多い
- 草刈ひとつにしても周辺の手入れが必要

放置された遊歩道
- 祖谷川（かずら橋より上流）の遊歩道が汚い

その他施設
- キャンプ場（きれいにしてほしい）

B班



「この地図の作成に当たっては、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の５万分の１地形図を複製したものである。（承認番号　平11四複、第 198 号）」

納・(株)新芳社　印刷・(株)乙綾印刷社

C班

【将来像（案）】

とことんド田舎～秘境の香りで癒されるまち～

かずら橋周辺では、豊かな自然と祖谷川の清流、その中に悠然と浮かぶかずら橋等により、秘境の香りが満ち溢れています。このかずら橋周辺を、秘境の香りあふれる“田舎”として保全・継承しつつ、更なる魅力の向上に取り組みます。

【目標（案）】

①かずら橋周辺の美しい景観を守り、美しい景観を演出する

②かずら橋周辺の観光ルートを安全・安心に、みんなが楽しめる空間にする

③かずら橋周辺の「秘境」イメージを向上する

④おもてなしの心、何度でも訪れたくなるかずら橋周辺づくりを進める

⑤

地域資源・地域産品の活用

地域の特産品（食べ物）
・でこまわし、コンニャク、祖谷蕎麦、アメゴ、ひらら焼き

地域の特産品（食べ物）
・ひらら焼きは、かずら橋周辺では提供の場がない

おもてなし

癒し

周辺の緑・周辺の景観の保全と活用

フジの花
・かずら橋ふもとのフジの花が美しい
・かずら橋とフジの花を収めた写真が美しい

自然景観
・かずら橋周辺には美しい自然景観が広がっている

集落景観の質の低下
・斜面集落の田畑に杉等の立木が増え、斜面集落の景観が阻害されている。適切な管理が必要

集落景観
・かずら橋夢舞台の背後、西祖谷山村今久保の集落の景観が独特で美しい
・斜面集落、平家伝説とも通じる

八合霧
・吉野川上流の八合霧が幻想的で美しい

祖谷川の保全と活用

祖谷川を眺める景観
・エメラルドグリーンの水と、青石による景観が美しい
・かずら橋上流、祖谷川の浅瀬の水がきれい。河岸に下りて遊ぶ人もいる

祖谷川への眺望の阻害（針葉樹）
・県道山城東祖谷山線（一宇～かずら橋）の祖谷川北側から針葉樹等の立木が邪魔をして祖谷川を眺めることが出来ない

琵琶の滝の保全と活用

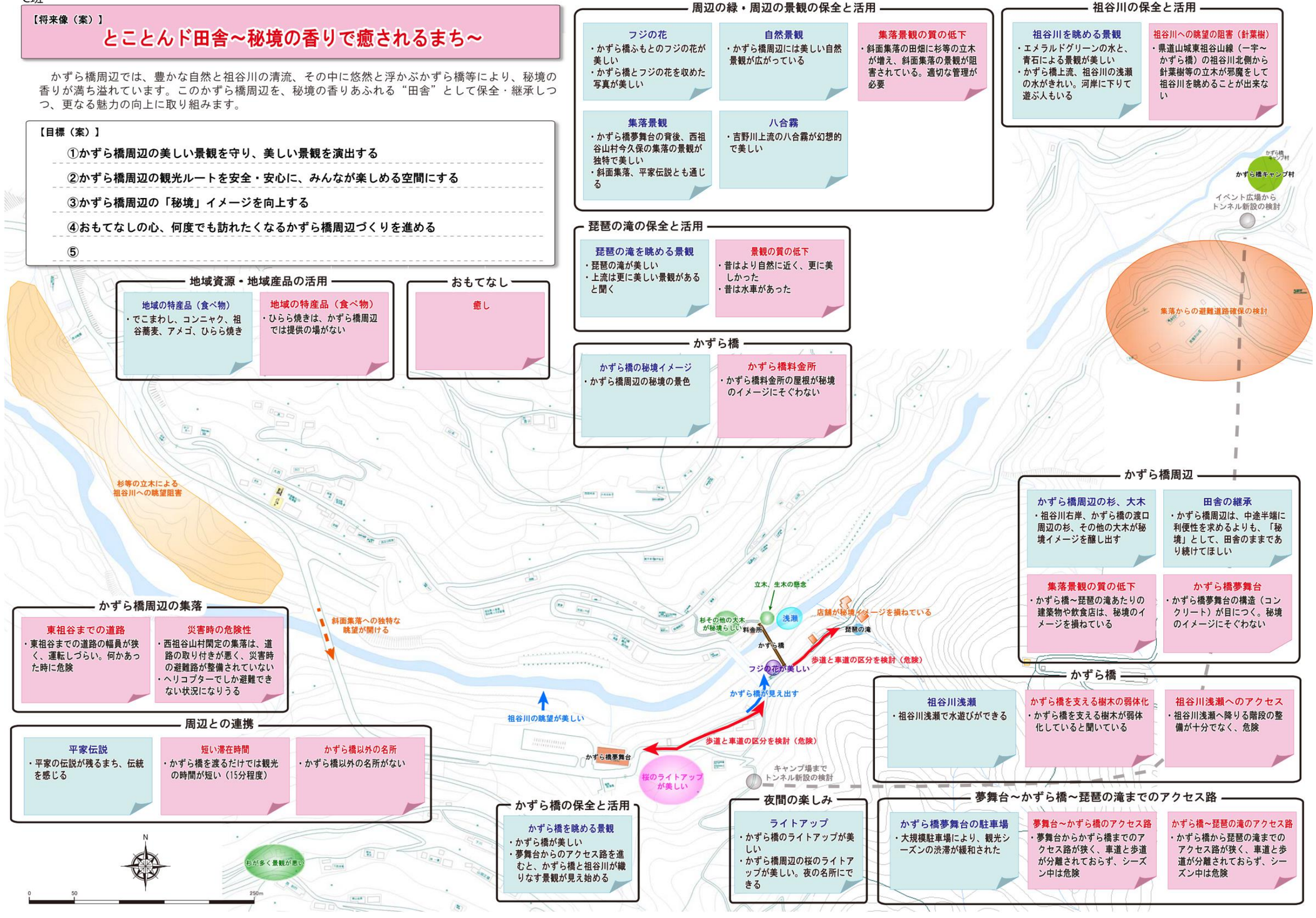
琵琶の滝を眺める景観
・琵琶の滝が美しい
・上流は更に美しい景観があると聞く

景観の質の低下
・昔はより自然に近く、更に美しかった
・昔は水車があった

かずら橋

かずら橋の秘境イメージ
・かずら橋周辺の秘境の景色

かずら橋料金所
・かずら橋料金所の屋根が秘境のイメージにそぐわない



かずら橋周辺の集落

東祖谷までの道路
・東祖谷までの道路の幅員が狭く、運転しづらい。何かあった時に危険

災害時の危険性
・西祖谷山村関定の集落は、道路の取り付きが悪く、災害時の避難路が整備されていない
・ヘリコプターでしか避難できない状況になりうる

周辺との連携

平家伝説
・平家の伝説が残るまち、伝統を感じる

短い滞在時間
・かずら橋を渡るだけでは観光の時間が短い（15分程度）

かずら橋以外の名所
・かずら橋以外の名所がない

かずら橋の保全と活用

かずら橋を眺める景観
・かずら橋が美しい
・夢舞台からのアクセス路を進むと、かずら橋と祖谷川が織りなす景観が見え始める

かずら橋周辺

かずら橋周辺の杉、大木
・祖谷川右岸、かずら橋の渡口周辺の杉、その他の大木が秘境イメージを醸し出す

田舎の継承
・かずら橋周辺は、中途半端に利便性を求めるよりも、「秘境」として、田舎のままであり続けてほしい

集落景観の質の低下
・かずら橋～琵琶の滝あたりの建築物や飲食店は、秘境のイメージを損ねている

かずら橋夢舞台
・かずら橋夢舞台の構造（コンクリート）が目につく。秘境のイメージにそぐわない

かずら橋

祖谷川浅瀬
・祖谷川浅瀬で水遊びができる

かずら橋を支える樹木の弱体化
・かずら橋を支える樹木が弱体化していると聞いている

祖谷川浅瀬へのアクセス
・祖谷川浅瀬へ降りる階段の整備が十分でなく、危険

夜間の楽しみ

ライトアップ
・かずら橋のライトアップが美しい
・かずら橋周辺の桜のライトアップが美しい。夜の名所にできる

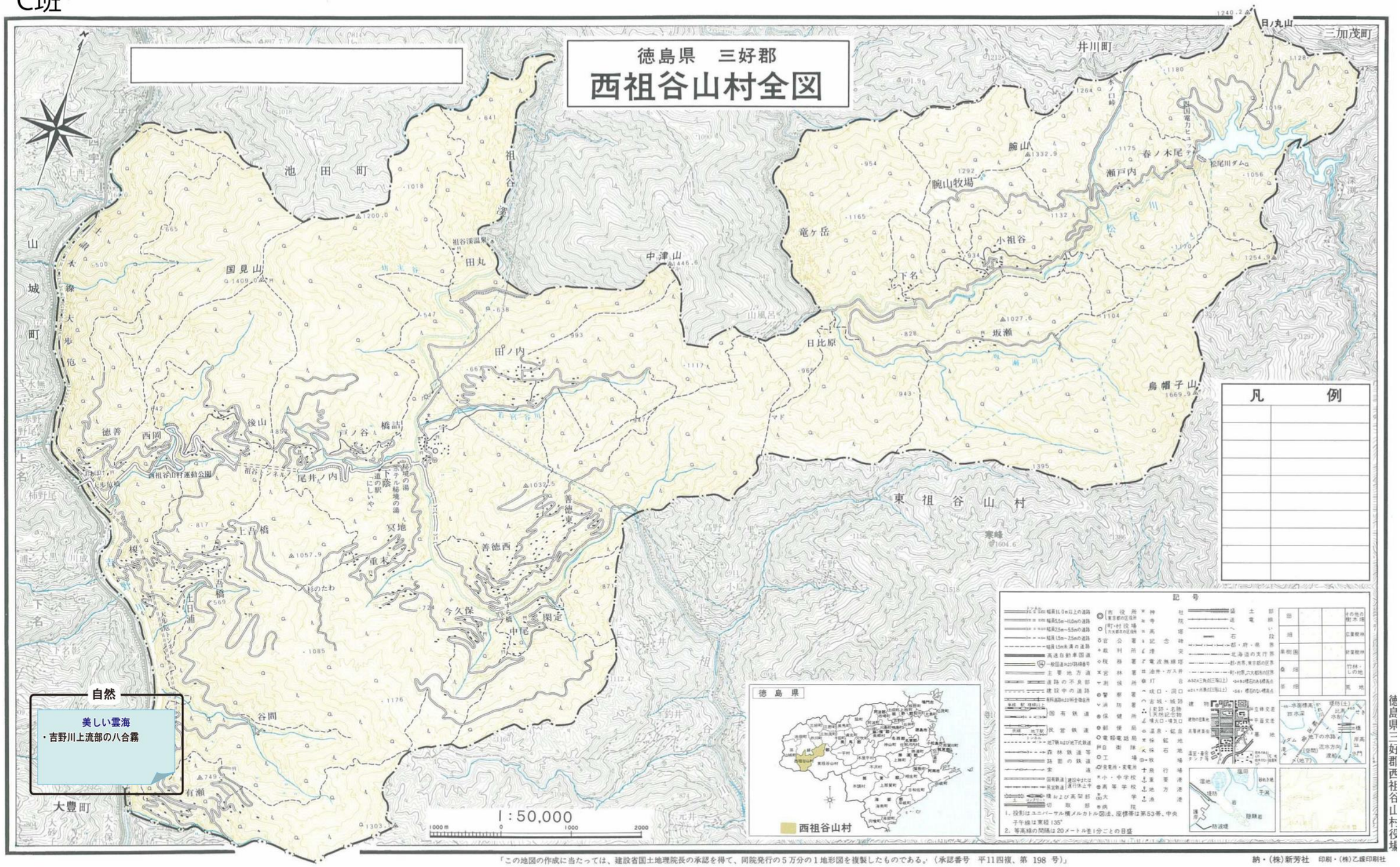
夢舞台～かずら橋～琵琶の滝までのアクセス路

かずら橋夢舞台の駐車場
・大規模駐車場により、観光シーズンの渋滞が緩和された

夢舞台～かずら橋のアクセス路
・夢舞台からかずら橋までのアクセス路が狭く、車道と歩道が分離されておらず、シーズン中は危険

かずら橋～琵琶の滝のアクセス路
・かずら橋から琵琶の滝までのアクセス路が狭く、車道と歩道が分離されておらず、シーズン中は危険

C班



「この地図の作成に当たっては、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の５万分の１地形図を複製したものである。」（承認番号　平11四複、第 198 号）」

納・(株)新芳社　印刷・(株)乙援印刷社

徳島県三好郡西祖谷山村役場

3　第２回住民懇談会

第２回の住民懇談会では、第１回住民懇談会の結果を振り返るとともに、改めて地域資源を見つめなおし、来訪者に多様な楽しみを演出する散策ルートについて意見交換を行いました。

（1）概要

■開催概要

開催日）平成 26 年 6 月 24 日　　参加者数）10 名

テーマ　「秘境を楽しむために必要な取組」

全体説明

■祖谷のかずら橋周辺のまちづくりの方針（案）
・皆様からいただいた意見等を踏まえた全体方針（案）

■意見交換の進め方
・意見交換のテーマや進め方の概要説明

意見交換

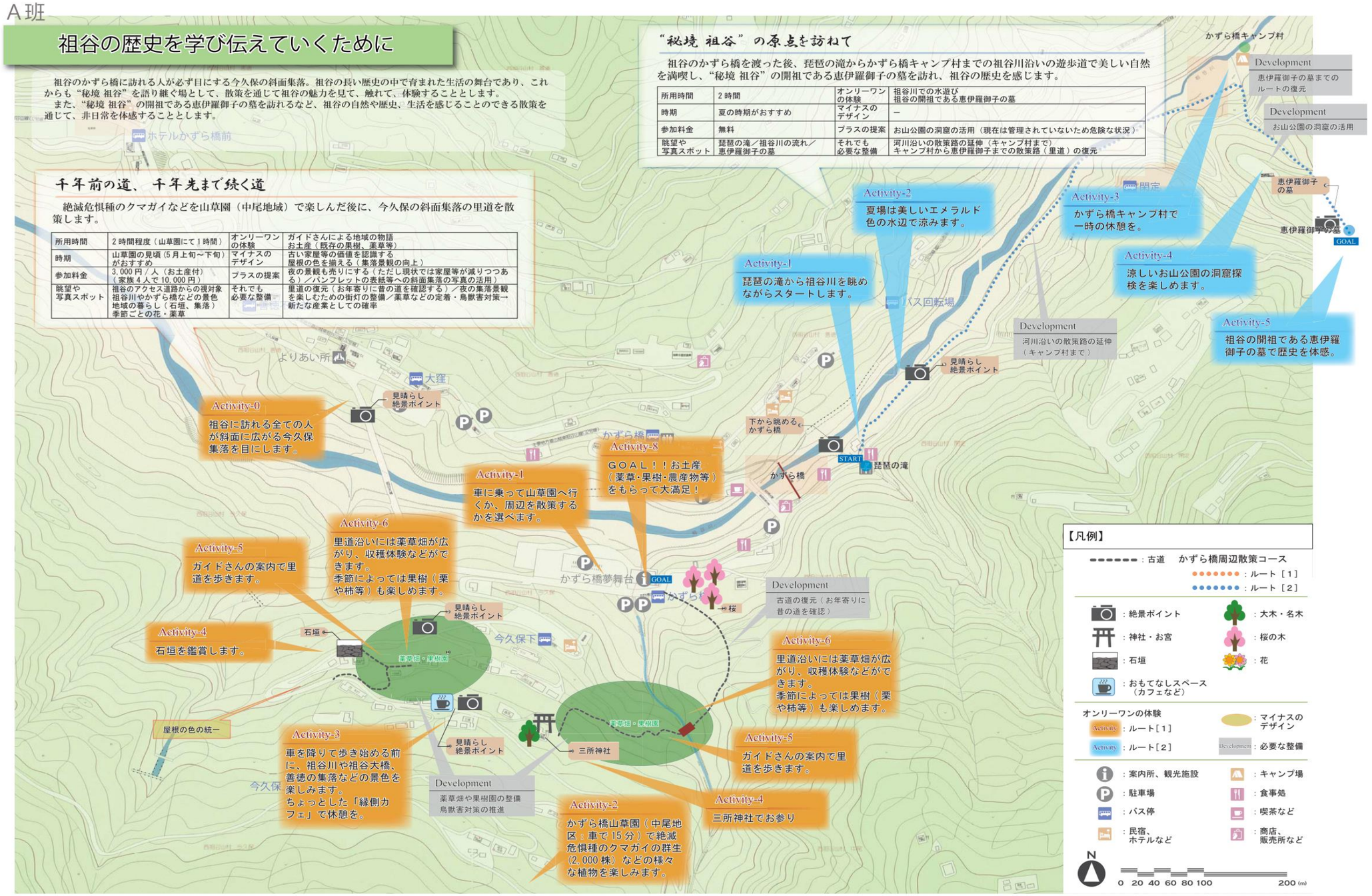
■前回意見の振り返り
・グループごとに第１回住民懇談会の結果の確認

■将来像の実現のために必要な取組
・「地域資源を見つめ直し、来訪者に多様な楽しみを演出する散策ルートを考えよう！」とのテーマに基づく意見交換

■懇談会の様子

（2）各班の結果

A班


祖谷の歴史を学び伝えていくために
祖谷のかずら橋に訪れる人が必ず目にする今久保の斜面集落。祖谷の長い歴史の中で育まれた生活の舞台であり、これからも“秘境 祖谷”を語り継ぐ場として、散策を通じて祖谷の魅力を見て、触れて、体験することとします。
また、“秘境 祖谷”の開祖である恵伊羅御子の墓を訪れるなど、祖谷の自然や歴史、生活を感じることのできる散策を通じて、非日常を体感することとします。
千年前の道、千年先まで続く道
絶滅危惧種のクマガイなどを山草園（中尾地域）で楽しんだ後に、今久保の斜面集落の里道を散策します。
所用時間 | 2時間程度（山草園にて1時間） | オンリーワンの体験 | ガイドさんによる地域の物語 お土産（既存の果樹、薬草等）
時期 | 山草園の見頃（5月上旬～下旬）がおすすめ | マイナスのデザイン | 古い家屋等の価値を認識する 屋根の色を揃える（集落景観の向上）
参加料金 | 3,000円／人（お土産付）（家族4人で10,000円） | プラスの提案 | 夜の景観も売りにする（ただし現状では家屋等が減りつつある）／パンフレットの表紙等への斜面集落の写真の活用）
眺望や写真スポット | 祖谷のアクセス道路からの視対象 祖谷川やかずら橋などの景色 地域の暮らし（石垣、集落） 季節ごとの花・薬草 | それでも必要な整備 | 里道の復元（お年寄りに昔の道を確認する）／夜の集落景観を楽しむための街灯の整備／薬草などの定着・鳥獣害対策→新たな産業としての確率
“秘境 祖谷”の原点を訪れて
祖谷のかずら橋を渡った後、琵琶の滝からかずら橋キャンプ村までの祖谷川沿いの遊歩道で美しい自然を満喫し、“秘境 祖谷”の開祖である恵伊羅御子の墓を訪れ、祖谷の歴史を感じます。
所用時間 | 2時間 | オンリーワンの体験 | 祖谷川での水遊び 祖谷の開祖である恵伊羅御子の墓
時期 | 夏の時期がおすすめ | マイナスのデザイン | ー
参加料金 | 無料 | プラスの提案 | お山公園の洞窟の活用（現在は管理されていないため危険な状況）
眺望や写真スポット | 琵琶の滝／祖谷川の流れ／恵伊羅御子の墓 | それでも必要な整備 | 河川沿いの散策路の延伸（キャンプ村まで） キャンプ村から恵伊羅御子までの散策路（里道）の復元
かずら橋キャンプ村
Development 恵伊羅御子の墓までのルートの復元
Development お山公園の洞窟の活用
恵伊羅御子の墓
GOAL
Activity-2 夏場は美しいエメラルド色の水辺で涼みます。
Activity-3 かずら橋キャンプ村で一時の休憩を。
Activity-4 涼しいお山公園の洞窟探検を楽しめます。
Activity-5 祖谷の開祖である恵伊羅御子の墓で歴史を体感。
Activity-1 琵琶の滝から祖谷川を眺めながらスタートします。
バス回転場
Development 河川沿いの散策路の延伸（キャンプ村まで）
見晴らし絶景ポイント
よりあい所
大窪
Activity-0 祖谷に訪れる全ての人が斜面に広がる今久保集落を目にします。
かずら橋
Activity-8 GOAL！！お土産（薬草・果樹・農産物等）をもらって大満足！
下から眺めるかずら橋
START
琵琶の滝
Activity-1 車に乗って山草園へ行くか、周辺を散策するかを選べます。
Activity-6 里道沿いには薬草畑が広がり、収穫体験などができます。季節によっては果樹（栗や柿等）も楽しめます。
Activity-5 ガイドさんの案内で里道を歩きます。
かずら橋夢舞台
桜
Development 古道の復元（お年寄りに昔の道を確認）
見晴らし絶景ポイント
Activity-4 石垣を鑑賞します。
石垣
今久保下
薬草畑・果樹園
屋根の色の統一
Activity-3 車を降りて歩き始める前に、祖谷川や祖谷大橋、善徳の集落などの景色を楽しみます。ちょっとした「緑側カフェ」で休憩を。
見晴らし絶景ポイント
三所神社
Development 薬草畑や果樹園の整備 鳥獣害対策の推進
Activity-2 かずら橋山草園（中尾地区：車で15分）で絶滅危惧種のクマガイの群生（2,000株）などの様々な植物を楽しみます。
Activity-6 里道沿いには薬草畑が広がり、収穫体験などができます。季節によっては果樹（栗や柿等）も楽しめます。
Activity-5 ガイドさんの案内で里道を歩きます。
Activity-4 三所神社でお参り
【凡例】
：古道　かずら橋周辺散策コース
：ルート［1］
：ルート［2］
：絶景ポイント
：神社・お宮
：石垣
：おもてなしスペース（カフェなど）
：大木・名木
：桜の木
：花
オンリーワンの体験
：ルート［1］
：ルート［2］
：マイナスのデザイン
：必要な整備
：案内所、観光施設
：駐車場
：バス停
：民宿、ホテルなど
：キャンプ場
：食事処
：喫茶など
：商店、販売所など
N
0 20 40 60 80 100 200 (m)

B班

物語をつづって歩く　秘境祖谷

祖谷に訪れる人々の多くは、「祖谷のかずら橋」が唯一の目的地となっていますが、決してかずら橋だけが祖谷の全てではありません。ふと周りを見渡せば、祖谷の暮らしや歴史、文化、自然などの沢山の魅力が隠れています。それらが一体となってこそ本来の秘境の姿であり、語り継がれ愛されつづける所以と言えます。

そのため、かずら橋周辺にある魅力を掘り起こすとともに、それらを一つの物語としてつづる仕掛けをつくることで、秘境祖谷の価値をさらに高め、より多くの人々に愛されることを目指します。

祖谷をいやほど体感　善徳ルート

～古道を登って触れる自然・文化・景観～

善徳の急峻な斜面を登る。古道を通って。そこには、祖谷の地形や豊かな自然、景観、文化（神代踊り）、祖谷の魅力があふれている。険しくも祖谷を堪能できるルート。

所用時間	180 分程度
時期	夏（神代踊り）
参加料金	イベント参加料（1,500 円 / 人　程度）
眺望や写真スポット	・今久保集落の眺望（杉の伐採後） ・神代踊り　・古道　・星空
オンリーワンの体験	・杉の伐採見学 ・神代踊りの鑑賞　・急峻な地形
マイナスのデザイン	・民家周辺の杉の伐採
プラスの提案	・古道（赤道）の復活
それでも必要な整備	・古道（赤道）の整備 ・トイレの整備

Activity-1
急峻な地形は健脚でもハード。

Activity-2
古道を通って祖谷の暮らしを体感。

Development
古道（赤道）の整備

Activity-3
杉の伐採イベントを開催。杉が切られて広がった先に見える今久保集落の眺望は圧巻！！

伐採ポイント（仮）

杉の伐採
今久保の眺望

伐採ポイント（仮）

Activity-4
天満宮神社の神代踊りを鑑賞し、祖谷の文化に触れる。

神代踊りを鑑賞

Activity-5
満点の星空をパノラマで堪能。

満点の星空を鑑賞

大窪

かずら橋

Activity-1
かずら橋夢舞台に車を停めてスタート。

かずら橋夢舞台

START
GOAL

かずら橋

Activity-2
薬草畑が広がり、季節によっては花が咲き乱れます。

薬草や花々の観賞

今久保下

Activity-3
石垣を鑑賞します。

石垣

Activity-7
折り返して、帰路へ。今久保の斜面を下りながら景色や自然を堪能。

Activity-8
ゴール。疲れた身体は祖谷のホテルや民宿の薬湯で癒しましょう。

Activity-5
今久保から望む善徳集落の眺望は必見。

今久保上

Activity-4
ナカヤマ氏宅に到着。縁側のある古民家で、お茶を飲みながら休憩。
また、薬草を使った郷土料理も堪能でき、そば打ち体験も！？

Activity-6
薬草園では、花の観賞や薬草摘みなど、さまざまな体験が可能。

見晴らし絶景ポイント

薬草園

Development
・古民家改修
・薬草園整備

祖谷美人への道　今久保ルート

～草花に美（麗・味・観）せられて～

石垣を活用した薬草園の花々に魅て、薬草を利用した郷土料理を味て、善徳の絶景を観る。心も身体も美しく健康になるようなルート。

所用時間	120 分程度
時期	花の見頃（春～夏）がおすすめ
参加料金	食事代のみ
眺望や写真スポット	・善徳集落の眺望（ナカヤマ氏宅付近より） ・石積み、薬草の花
オンリーワンの体験	・花や薬草などの観賞 ・薬草を利用した料理の提供、薬湯
マイナスのデザイン	・放棄された葉林の伐採 ・民家周辺の杉の伐採
プラスの提案	・放棄された葉林を利用した薬草園 ・民家の再生、活用
それでも必要な整備	・トイレの整備、古民家の改修 ・薬草園の整備

Activity-2
祖谷川のほとりで豊かな自然を体感。

Development
川へ下りる道の整備

かずら橋

バス回転場

桜並木を鑑賞

Activity-3
平家伝説にまつわる優美な琵琶の滝を堪能。

優美な滝を鑑賞

琵琶の滝

Activity-1
かずら橋を渡ってスタート。

START

Activity-4
春には住民手づくりの桜の花道を鑑賞。

Activity-5
道中、住民ガイドとともに歩きながら、祖谷の歴史や生活について学ぶ。

Activity-7
囲炉裏のある古民家タキシタ宅にて、お茶を飲みながら祖谷の暮らしについて語らう。

GOAL

かずら橋キャンプ村

囲炉裏のある古民家

Development
お山公園を通るルートの確保

閑定

歴史を物語る墓

恵伊羅御子の墓

Activity-6
祖谷の開祖の墓を訪ねて、往時の生活に思いを馳せる。

祖谷の暮らしの起源をたどる道　閑定ルート

～二人の祖谷の開祖と豊かな自然～

祖谷の開祖と呼ばれる恵伊羅御子と小野老婆。二人が祀られるお墓を訪れ、往時の祖谷に思いを馳せるとともに、今も昔も祖谷を育む豊かな自然を満喫するルート。

所用時間	90 分程度
時期	春（桜の見頃）
参加料金	お茶代
眺望や写真スポット	・琵琶の滝・祖谷川の流れ・桜の花道 ・恵伊羅御子の墓・タキシタ宅
オンリーワンの体験	・祖谷川の恵み、洞窟 ・祖谷の歴史（開祖である恵伊羅御子の墓）
プラスのデザイン	・古民家の活用
それでも必要な整備	・お山公園を通るルート確保 ・川へ下りる道の整備　・トイレの整備

【凡例】

- ：古道　かずら橋周辺散策コース
- ：ルート［1］
- ：ルート［2］
- ：絶景ポイント
- ：神社・お宮
- ：石垣
- ：おもてなしスペース（カフェなど）
- ：大木・名木
- ：桜の木
- ：花
- オンリーワンの体験
  - Activity：ルート［1］
  - Activity：ルート［2］
  - Activity：ルート［3］
- ：マイナスのデザイン
- Development：必要な整備
- ：案内所、観光施設
- ：駐車場
- ：バス停
- ：民宿、ホテルなど
- ：キャンプ場
- ：食事処
- ：喫茶など
- ：商店、販売所など

N

0　20　40　60　80　100　200 (m)

C班

記憶の古道～秘境の原風景を巡るたび～

かずら橋周辺は現在でも「秘境」の香りに満ちていますが、その昔、まだ十分な道路整備が行われていなかった頃には、人々は祖谷川から周辺の山々・渓谷につながる“古道”を歩いて生活していました。当時のかずら橋周辺は、現在よりも更に「秘境」の香りが溢れていたことでしょう。

この「秘境の原風景」とでもいうべきかずら橋周辺の記憶をつなぐ“古道”をもう一度掘り起し、散策路として甦らせることを提案します。甦った“古道”の周辺には、かずら橋周辺ならではの秘境らしさを演出する資源と体験スポットが随所に拡がり、「秘境の原風景を巡るたび」を彩ります。

絶景と祖谷茶で癒されて　～今久保ルート

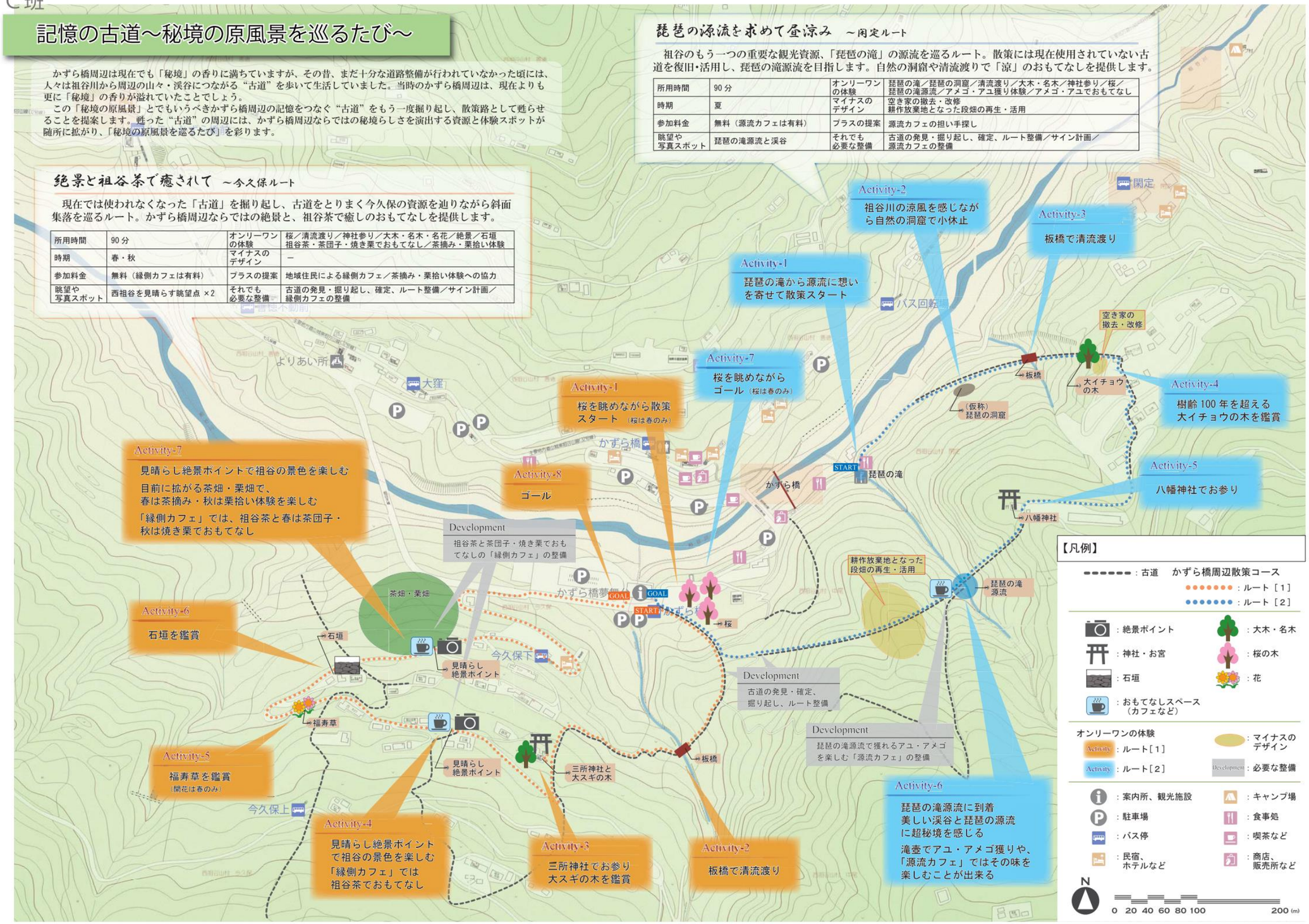
現在では使われなくなった「古道」を掘り起し、古道をとりまく今久保の資源を辿りながら斜面集落を巡るルート。かずら橋周辺ならではの絶景と、祖谷茶で癒しのおもてなしを提供します。

所用時間	90 分	オンリーワンの体験	桜／清流渡り／神社参り／大木・名木・名花／絶景／石垣 祖谷茶・茶団子・焼き栗でおもてなし／茶摘み・栗拾い体験
時期	春・秋	マイナスのデザイン	－
参加料金	無料（縁側カフェは有料）	プラスの提案	地域住民による縁側カフェ／茶摘み・栗拾い体験への協力
眺望や写真スポット	西祖谷を見晴らす眺望点 ×2	それでも必要な整備	古道の発見・掘り起し、確定、ルート整備／サイン計画／縁側カフェの整備

琵琶の源流を求めて昼涼み　～周定ルート

祖谷のもう一つの重要な観光資源、「琵琶の滝」の源流を巡るルート。散策には現在使用されていない古道を復旧・活用し、琵琶の滝源流を目指します。自然の洞窟や清流渡りで「涼」のおもてなしを提供します。

所用時間	90 分	オンリーワンの体験	琵琶の滝／琵琶の洞窟／清流渡り／大木・名木／神社参り／桜／ 琵琶の滝源流／アメゴ・アユ獲り体験／アメゴ・アユでおもてなし
時期	夏	マイナスのデザイン	空き家の撤去・改修 耕作放棄地となった段畑の再生・活用
参加料金	無料（源流カフェは有料）	プラスの提案	源流カフェの担い手探し
眺望や写真スポット	琵琶の滝源流と渓谷	それでも必要な整備	古道の発見・掘り起し、確定、ルート整備／サイン計画／ 源流カフェの整備



第３章　全体構想

「第１章　現状と課題」と「第２章の住民意向」を踏まえ、かずら橋周辺における整備構想の全体構想を次のとおりとしました。

１　かずら橋周辺の整備方針

地域の魅力を活かした“秘境”の創出

かずら橋周辺は、地域内外の誰もが共通して”秘境”と認識しています。この”秘境”を物語る豊かな自然や景観、歴史・文化、生活を後世へ継承するとともに、地域の魅力を活かした新たな取組みを行い、さらに魅力あふれる”秘境”を創出します。

～祖谷における秘境の定義～

・豊かな自然に恵まれた場所（非日常の体感）
・古くからの歴史や伝統が引き継がれている場所（神秘性）
・誰もが知り、多くの人が訪れる四国地方を代表するスポット

参考：「秘境」の定義
人の訪れたことのない、まだ一般的によく知られていない地域
参照：大辞林　第三版　三省堂

2　“秘境”のイメージを高めるための方針

Less is more（少ないことは豊かなこと）

①マイナスのデザイン…必要ないものは除く、無くすことで新たな景観等を創る
②祖谷のらしさを守る…ハード整備は極力行わず、使える資源・ストックの積極的な活用により、地域に根付いたものを守る・育む

■祖谷のかずら橋周辺にて“秘境”のイメージを高めるための4つの視点

守る・引き継ぐ　「秘境」のイメージを形成しているものを守る・引き継ぐ

・かずら橋自体をはじめ、豊かな自然環境や景観などを守り続けます。

除く・改善する　「秘境」のイメージを損なうものを除く・改善する

・景観を阻害する要因（空き家等）を除く、改善し、地域イメージを高めます。

創る　「秘境」のイメージを高めるものを創る

・地域の方々と来訪者の交流などを通じて、地域のイメージを創り出します。
・様々な活動に参加することで地域を知り、仲間・ファンの拡大を図ります

条件整備　「秘境」を感じ・楽しむための条件整備を行う

・ありのままの地域の姿を体験してもらうための条件整備を行う。

3　“秘境 祖谷”の活性化に向けたプロジェクト

地域住民や来訪者ともに評価している“秘境”のイメージを高め、守り続けるために、住民懇談会等の意見も踏まえつつ、以下の９つのプロジェクトを展開します。

アクセス

プロジェクト①　来訪者の動線上の“秘境感”を高める　守る・継ぐ　創る　除く・改善　条件整備

・アクセス路上の主要なポイント(JR 大歩危駅付近等)における情報発信スポットの整備検討

・自然景観を楽しめる沿道の再整備…眺望スポットの整備や沿道の樹木の適切な維持管理

等

プロジェクト②　かずら橋夢舞台の改善を図る　除く・改善

・かずら橋夢舞台の緑化の更なる推進

等

かずら橋周辺の観光

プロジェクト③　祖谷のかずら橋自体の更なる魅力の向上　創る　守る・継ぐ　条件整備

・樹木の弱体化に歯止めを欠ける…透水性舗装等の採用検討

・夜間のライトアップの充実、PR の強化

・かずら橋の魅力（四季折々の姿、架け替え作業等）の PR

・かずら橋周辺施設の秘境感を高める

等

プロジェクト④　かずら橋夢舞台からかずら橋周辺の質的向上　創る　除く・改善　条件整備

・回遊ルートの安全性を高める

・空き店舗等の撤去・活用の検討、既存店舗の修景や景観誘導

等

かずら橋周辺の観光

プロジェクト⑤　周辺の回遊を促す　創る　条件整備

・回遊ルートの整備（例：水辺への降り口）

・回遊を促すサインの整備

等

プロジェクト⑥　多様な楽しみの創出（体験・食事等）　守る・継ぐ　創る　除く・改善　条件整備

・かずら橋ならではの体験メニューの創出

・周辺の地域資源の活用（散策ルートの設定）

・町並みの形成

・食の楽しみ

・地域の方々とのふれあいの場

等

プロジェクト⑦　おもてなしの心の醸成　創る

・地域イメージを高める観光ガイドの強化

・地域が一体となったもてなしの意識づくり

等

西祖谷／市内の周遊

プロジェクト⑧　かずら橋夢舞台のターミナル機能の強化　条件整備

・かずら橋夢舞台からの新たな交通手段の検討

・かずら橋夢舞台における情報発信機能の強化

等

プロジェクト⑨　来訪者の動線上の“秘境感”を高める　創る　条件整備

・かずら橋周辺の観光資源（二重かずら橋や落合集落等）の多様な情報発信

・地域住民や来訪者が参加しながら魅力的な資源の発掘・PR（良好な眺望など）

・携帯端末を活かした新たな情報発信手法の検討等による情報発信の強化

等

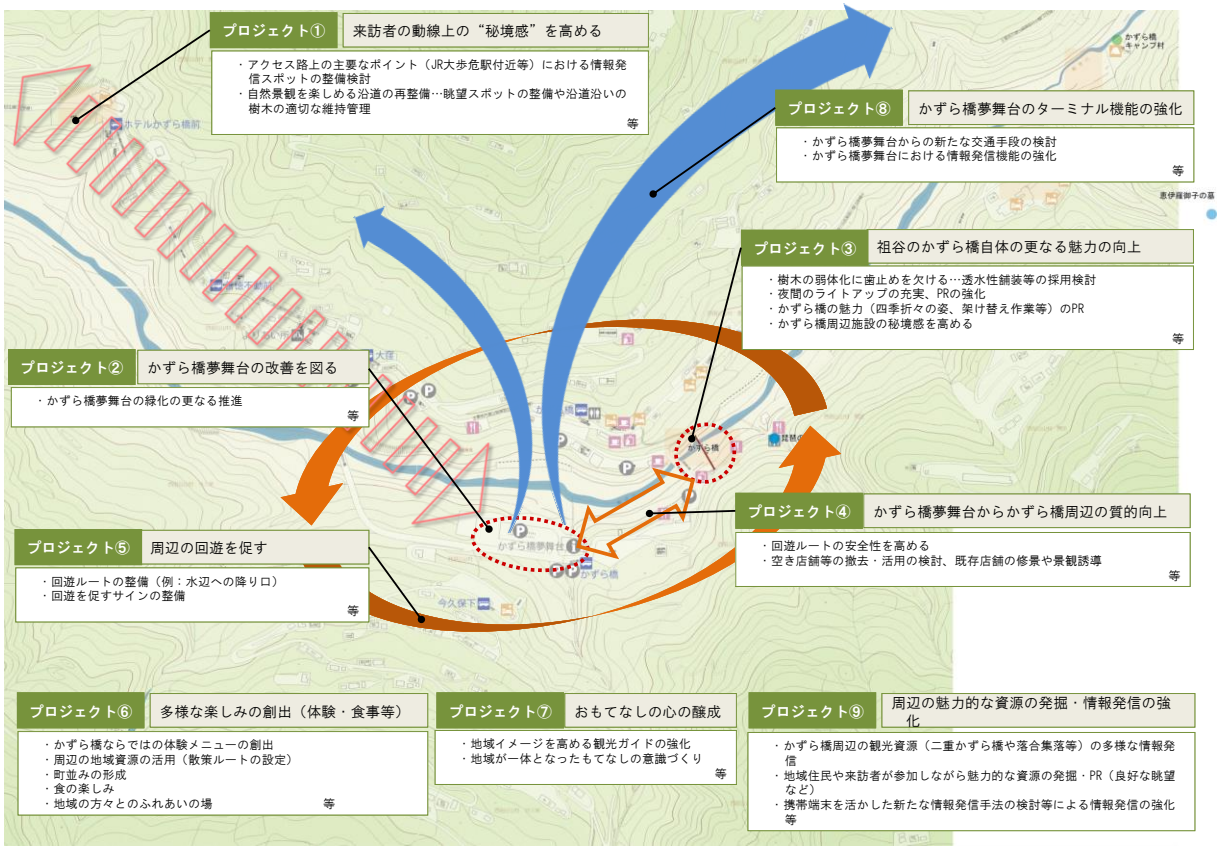


図　プロジェクトの展開イメージ

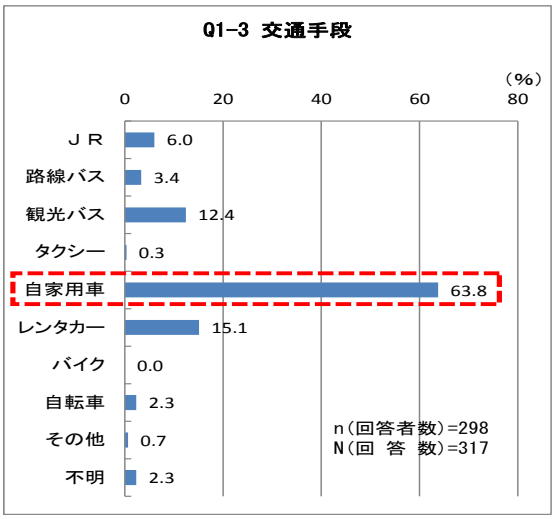
第４章　かずら橋周辺の活性化プロジェクト

全体構想で掲げた『地域の魅力を活かした“秘境”の創出』の実現に向け、「“秘境 祖谷”の活性化に向けたプロジェクト」の体系に基づき、関連するかずら橋周辺の現状・課題と住民意向を踏まえつつ、対策方針と施策イメージを整理します。

プロジェクト①　来訪者の動線上の“秘境感”を高める

（１）現状・課題

・祖谷のかずら橋の来訪者は、自家用車の利用が圧倒的に多く、道路上での情報発信が重要です。
・祖谷のかずら橋へのアクセス道路（(主)西祖谷山山城線）にある旧料金所の茅葺屋根が、来訪者に対する秘境のイメージを発信する玄関口となっていますが、老朽化が進み、茅葺屋根の改修が求められています。
・アクセス道路からは、祖谷川や緑豊かな山々などの自然景観を楽しむことができるが、眺望を楽しむ空間の不足や沿道の樹木が眺望の阻害となっています。



（２）懇談会の意見（抜粋）

項目	良い所	悪い所	必要な対策
情報発信スポット		**■情報発信スポットの不足** ・JR 大歩危付近での情報発信が不足	**■情報発信スポットの整備** ・JR 大歩危駅周辺での情報発信スポットの整備 ■秘境の演出の不足 ・大歩危から入ったところくらいから秘境の演出が必要
眺望	**■豊かな眺望** ・祖谷川や緑豊かな山々などの良好な眺望 ・植樹などの取組み ・紅葉、山桜、こぶし等の季節に応じた景観	**■眺望の阻害** ・道路沿いの樹木が生い茂っている（景色が見えない） ・針葉樹が多い **■不法投棄の存在** ・祖谷街道沿い、祖谷美人周辺等におけるゴミの不法投棄	

（3）対策方針

■来訪者の動線を踏まえつつ、“秘境感”を高めていく仕組みの検討

・国道 55 号と(主)西祖谷山山城線交差点及び JR 大歩危駅周辺における秘境感を感じさせる情報発信スポットの整備を検討します。

・祖谷の玄関口となる旧料金所の屋根の改修を検討します。

■自然景観を楽しめる沿道の再整備

・良好な眺望のポイントにおける休憩スペースの確保検討を行います。

・道路沿いの樹木の適切な維持管理（必要に応じて伐採の検討）に努めます。

（4）施策イメージ

施策１－１　情報発信スポットの整備検討　条件整備

（概要）

・アクセス路の主要な交差点及び JR 大歩危駅付近において、来訪者に対する情報発信スポットの整備の検討を行います。

（配慮事項等）

・秘境感のある施設の検討

・かずら橋と周辺の様々な資源の情報発信により地域全体の回遊の向上

・祖谷の木材や古材の利用

・空家や古民家の活用、移築

JR 大歩危駅

施策１－２　祖谷の玄関口となる旧料金所の改修　守る・継ぐ　除く・改善　条件整備

（概要）

・祖谷の玄関口となる旧料金所の茅葺屋根の改修を検討します。

・改修とあわせて、情報発信機能の強化（周辺への観光案内版等の設置検討）を図ります。

（配慮事項等）

・定期的な改修計画の検討

・祖谷の玄関口にふさわしい位置の再検討

旧料金所

施策１－３　自然景観を楽しめる沿道の再整備

除く・改善　創る　条件整備

（概要）

・主要なアクセス路となる(主)西祖谷山山城線の良好な眺望スポットにおいて、休憩スペース等の確保を検討します。
・良好な眺望のスポットにおいては、道路沿いの樹木の適切な維持管理を行い、必要に応じて樹木の伐採を実施します。
・来訪者が必ず目にする今久保の斜面集落の景観の向上に向けた取組みや PR の強化を図ります。

雲海（徳島県 HP より）

今久保の斜面集落

（配慮事項等）

・不法投棄対策等の配慮が必要

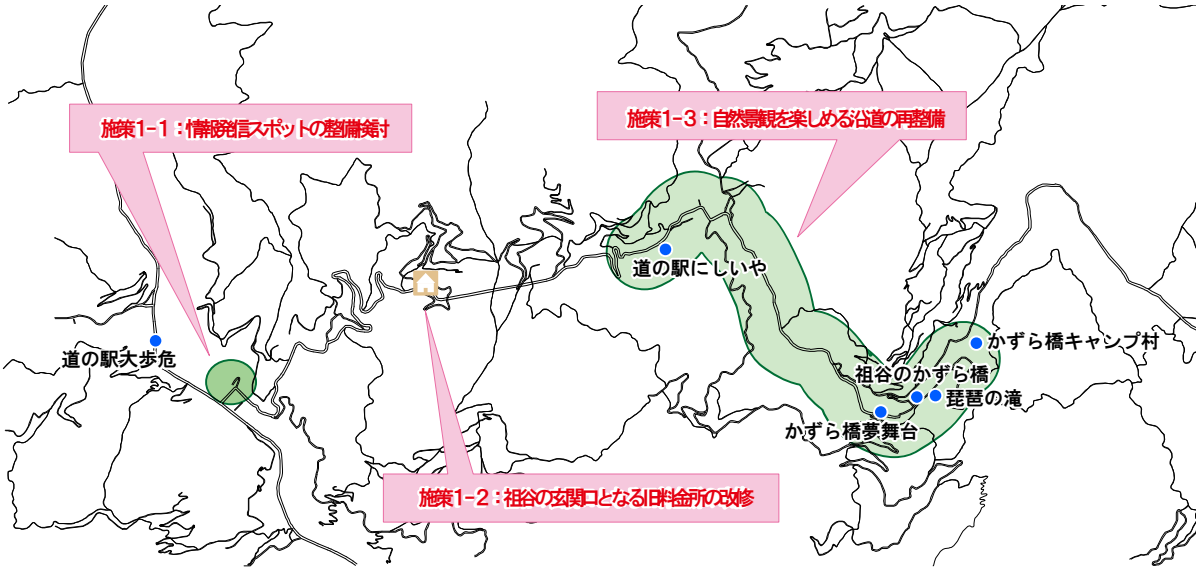


図　プロジェクト①の検討位置図

プロジェクト② かずら橋夢舞台の改善を図る

（1）現状・課題

・かずら橋夢舞台の整備によって、混雑時の渋滞の改善が図られるとともに、利用者の利便性の向上が図られました。

・一方、かずら橋夢舞台の柱構造等が、周辺の秘境の景観を損なうとの指摘があり、その改善が求められています。

かずら橋夢舞台

（2）懇談会の意見（抜粋）

項目	良い所	悪い所	必要な対策
かずら橋夢舞台	■拠点性 ・駐車場・物販施設として多くの人が集まっている	■駐車場の柱 ・魅力を阻害する要因となっている ・秘境のイメージを損なっている	

（3）対策方針

■かずら橋夢舞台の緑化の推進

・既に取組まれているかずら橋夢舞台の柱の緑化について、更なる推進を図ります。

（4）施策イメージ

施策２－１	かずら橋夢舞台の緑化の更なる推進	除く・改善

（概要）

・既に取組まれているかずら橋夢舞台の柱の緑化（登坂型）の更なる推進を図るとともに、緑の速やかな定着をめざす工法の調査研究を行います。

・現在の登坂型の緑化方法だけでなく、下垂型やプランターを利用した緑化等の検討を行います。

（配慮事項等）

・維持管理等の容易性やコストを見据えた緑化方法の検討が必要

・柱部の緑化は、植栽の定着が難しい面があるとともに、メンテナンスの作業性や緑被の進捗に時間が必要

かずら橋夢舞台での緑化の取組み

事例

〇アクロス福岡（福岡県）

・階段状屋上庭園（ステップガーデン）を設けた公・民複合施設です。都市の中の作られた人工の山であり、隣接する公園と合わせて緑のオアシスとなっています。

・階段状の植栽地には、地元の自然の植物など様々な種類で構成されています。

（参照：壁面緑化ガイドライン　東京都）

プロジェクト③　祖谷のかずら橋自体の更なる魅力の向上

（1）現状・課題

・かずら橋は年間 30 万人を超える観光客が訪れており、四国を代表する観光資源となっています。

・かずら橋を支える樹木の弱体化が進んでいるとの指摘がある中で、かずら橋の適切な管理を図っていくためにもその対策が求められています。

・かずら橋自体が“秘境”のイメージを形成する核となるものであり、更なる魅力を高めていくことが必要です。

（2）懇談会の意見（抜粋）

項目	良い所	悪い所	必要な対策
かずら橋		**■樹木の弱体化** ・かずら橋を支える樹木が弱体化していると聞く	
眺め	**■フジの花** ・かずら橋ふもとのフジの花が美しい（良い写真がとれる）	**■かずら橋の料金所** ・かずら橋の料金所の屋根が秘境のイメージにそぐわない	**■かずら橋料金所の屋根の改修** ・かずら橋の架け替えとあわせて料金所の屋根の改修 ・茅葺などの秘境のイメージに合うものに変更
夜間の楽しみ	**■かずら橋のライトアップ** ・宿泊者などへの夜のかずら橋の楽しみの提供	**■かずら橋のライトアップ** ・街灯が明るすぎてライトアップの幻想的なイメージが損なわれている ・ライトアップが限られており、琵琶の滝の方まで散策することができない	
架け替え	**■伝統文化** ・架け替え作業は伝統文化となっている	**■かずら橋の情報発信不足** ・かずら橋の架け替えなどの PR の不足	

（3）対策方針

■かずら橋自体の魅力の向上

・樹木の弱体化に歯止めを欠けます。

・夜間の魅力を高めます。

・かずら橋周辺施設の秘境感を高めます。

■かずら橋の魅力の PR

・かずら橋の学びの場を設けます。

（4）施策イメージ

施策３－１　樹木の弱体化に歯止めを欠ける　守る・継ぐ

（概要）

・かずら橋を支える樹木の弱体化の一因として、遊歩道の舗装が雨水を通さないために水分の補給が少なくなったためと考えられている。このため、秘境のイメージに適した透水性舗装等の採用を図るなどの対応を行います。

かずら橋を支える樹木

（配慮事項等）

・周辺の自然景観にマッチした舗装材への採用を行うとともに、歩きやすさや管理面への配慮が必要

事例

〇一乗谷川散策路（福井県）

・国の特別史跡に指定されている一乗谷朝倉氏遺跡を訪れる観光客の利便性を向上させるために、河川沿いの管理道を遊歩道として活用できるように整備を行っています。

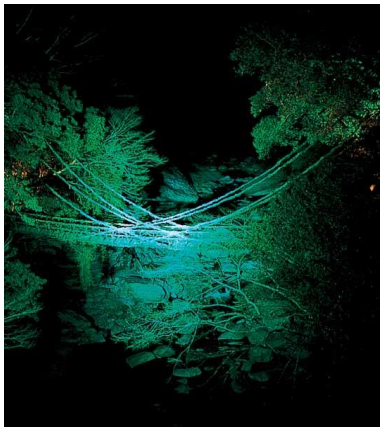
・散策路は、3m 幅にて、自然環境に配慮した透水性舗装で整備されており、史跡公園歩行ネットワークを形成しています。

（参照：観光地における社会資本整備の配慮事項に関する事例集　国土交通省）

施策３－２　夜間の魅力を高める　創る

（概要）

・かずら橋周辺の観光における夜間の楽しみの一つであるかずら橋のライトアップの PR 強化を図るとともに、更なる魅力を高めるために、琵琶の滝までの回遊なども見据えた幻想的なムードを醸し出す照明の整備を検討します。



ライトアップの状況

（配慮事項等）

・観光客の安全確保には十分な配慮が必要

・交差点における安全な照度確保との調整が必要

照明整備のイメージ（事例）

施策３－３　かずら橋周辺施設の秘境感を高める　創る

（概要）

・現在のかずら橋の料金所について、秘境のイメージに適した施設への改修を検討します。

（配慮事項等）

・料金所の改修を行うことで、周辺の公共施設さらには民間施設においても秘境のイメージにマッチした施設への改修を促すことが重要

・秘境のイメージの施設のルールづくりの検討も必要

かずら橋の料金所

施策３－４　かずら橋の魅力のＰＲ

創る　条件整備

（概要）

・かずら橋は、季節に応じて様々な魅力ある景色を見せており、リピーターの確保のためにも季節に応じた魅力を発信することが重要です。

・伝統行事である、かずら橋の架け替え作業の PR 強化に努め、通常とは違った魅力を発信していきます。

・また、かずら橋夢舞台において、四季折々の写真の展示や架け替え作業の様子を示すビデオの上映などを行うことを検討します。

祖谷のかずら橋架け替え工事竣工式

（三好市観光協会HP参照）

（配慮事項等）

・四季折々のかずら橋の風景の PR を図ることで、リピーターの確保につなげていくことが重要

事例

〇道の駅白川郷（岐阜県白川村）

・合掌造りの里のさまざまな魅力をまるごと楽しめる道の駅・白川郷にある合掌ミュージアムは、本物の合掌家屋を移築して建築の過程をわかりやすく展示・解説しています。

（参照：白川郷観光協会　http://www.shirakawa-go.gr.jp/details/?i=55）

プロジェクト④　かずら橋夢舞台からかずら橋周辺の質的向上

（1）現状・課題

・かずら橋夢舞台（観光駐車場）からかずら橋までのアクセス道は、狭隘かつ歩道が整備されていないため、混雑時には歩行者と車両が錯綜する状況が生じ危険な状況にあり、その対策が求められています。

・かずら橋周辺では、空き店舗等が点在し、秘境のイメージを損なわせていると指摘があります。

沿道の店舗等の状況

（2）懇談会の意見（抜粋）

項目	良い所	悪い所	必要な対策
歩行者動線		**■歩行者の危険性** ・歩道がないため混雑時等に危険な状況 ・道幅が狭い、勾配がきつい ・冬場の凍結による危険性 **■琵琶の滝へのアクセス** ・道路が狭い	**■道路の拡幅** ・実現の課題、景観の悪化への懸念 **■交通の運用** ・季節・時間帯による交通規制 ・民間駐車場や一般交通への影響
アクセス路沿い		**■空き店舗等の増加** ・寂れたイメージとなっている ・老朽家屋の存在 **■既存店舗による景観阻害** ・かずら橋周辺の既存店舗が秘境感を損ねている	**■かずら橋周辺の店舗等の撤去** ・秘境らしさを取り戻すため空き店舗等の撤去

（3）対策方針

■安全な歩行空間の確保

・秘境のイメージを損なうことなく、安全な歩行空間の確保の検討を行います。

■空き店舗等の撤去･活用

・老朽化し不要となった空き店舗等の除却を促すとともに、地域住民や民間事業者等による空き店

舗の活用の可能性も考え、空き家・空き店舗の情報を集約・発信します。

■既存店舗の修景･景観誘導

・秘境のイメージを向上させるため、既存店舗の修景・景観誘導を行います。

（4）施策イメージ

施策４－１	安全な歩行空間の確保	除く・改善	条件整備

（概要）

・秘境のイメージを損なわないように配慮しながら、安全な歩行空間の確保を行います。

・安全な歩行空間の確保に当たっては、地域住民と行政との検討組織を立ち上げるなど、地域の方々の理解と協力のもと、より良い方法の検討を行うものとします。

①路肩部分への異なる舗装の採用　　②歩行者の新たな動線を確保する

③混雑時における通行車両の抑制等

（配慮事項等）

・来訪者や地域住民の意向を踏まえた対策検討が必要

・観光地としての魅力を高めていく対策検討が必要

※詳細はリーディングプロジェクト③にて記載

施策４－２	空き店舗等の撤去・活用	除く・改善	条件整備

（概要）

・空き家等の所有者の理解と協力を得ながら、老朽化した空き店舗等の撤去を行います。

・活用可能な店舗等については、地域特産物の販売や祖谷の歴史を伝える学習施設等として活用を図ります。

（配慮事項等）

・空き店舗等の除却に対する支援制度の検討

施策４－３	既存店舗の修景・景観誘導	除く・改善	条件整備

（概要）

・かずら橋周辺に立地している既存店舗の建て替え等の更新時期にあわせて、秘境のイメージを重視した修景・景観整備を誘導します。

（配慮事項等）

・秘境のイメージ向上に向けた建築物等修景のガイドラインの検討

・秘境のイメージ向上に資する修景・景観整備に対する支援制度の検討

沿道の店舗等の状況

プロジェクト⑤　周辺の回遊を促す

（1）現状・課題

・かずら橋周辺の観光は、かずら橋を渡って終わりという「15 分の観光地」と揶揄されることもあり、琵琶の滝や水辺、豊かな自然景観等の魅力的な資源を楽しんでもらうことが重要です。

・しかしながら、水際までの降り口が危険な状況にあること、河川沿いの遊歩道が行き止まりとなっていることなど、観光客の回遊を促すための条件整備が整っていないとの指摘があります。

・また、様々な観光案内版が整備されていますが、総合案内板の不足や統一感がないなどの指摘があり、総合案内板や誘導標識などの適切な配置を検討していく必要があります。

かずら橋周辺の看板

（2）懇談会の意見（抜粋）

項目	良い所	悪い所	必要な対策
観光の状況		**■短い滞在時間** ・かずら橋を渡るだけでは観光の時間が短い（15 分程度）	
散策路の状況	**■周辺の資源** ・美しい琵琶の滝や水際でのふれあいなどの多様な資源の存在	**■連携不足** ・かずら橋を渡ってから琵琶の滝の方へ散策する人が少ない **■祖谷川への降り口** ・祖谷川へ降りる階段が途中から未整備で危険 **■散策路** ・行き止まりとなっており散策の楽しみが半減 ・手入れが行き届いていない	**■散策路の延伸** ・キャンプ村までの散策路の延伸

（3）対策方針

■周遊ルートの整備

・水際までの安全な降り口の情報提供を行います。

・休憩・眺望スポット等の整備を検討します。

・遊歩道の延伸を検討します。

■回遊を促すサインの整備

・総合案内板・誘導標識等の適切な整備（統一のサイン整備）を検討します。

（4）施策イメージ

施策５－１	周遊ルートの整備	条件整備

（概要）

・現在、水辺への降り口は途中までの整備となっていることから、多くの人が安全に降りられる対策を検討します。

・また、河川沿いに整備されている遊歩道は行き止まりとなっており、終点側に目的となる施設がないことから、眺望スポットの整備やキャンプ村までの延伸を検討します。

（配慮事項等）

・遊歩道を利用した回遊を促すインセンティブ（散策マップの提供やスタンプラリーなどのソフト施策）の検討が必要

・散策路の管理体制（地元住民の協力）の確立が不可欠

水際までの安全な降り口の情報発信

行き止まりとなっている遊歩道付近
での眺望スポットの整備

水の流れや風景を楽しむスポットの整備

※詳細はリーディングプロジェクト①にて記載

施策５－２　回遊を促すサインの整備

創る　条件整備

（概要）

・観光客の動線を踏まえながら、総合案内板や誘導標識等の整備を行います。サインの整備に当たっては、上記の周遊ルートの整備とあわせた検討を行い、観光客の周遊を促すものとします。

（配慮事項等）

・民間が設置している案内板等についても秘境のイメージを損なわないものにしていくためのルールづくりなども検討が必要

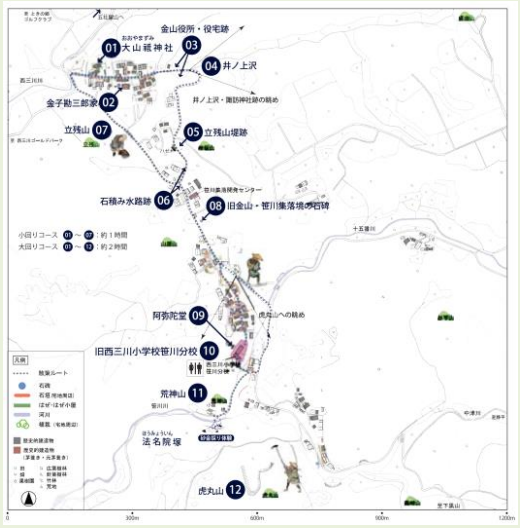
事例

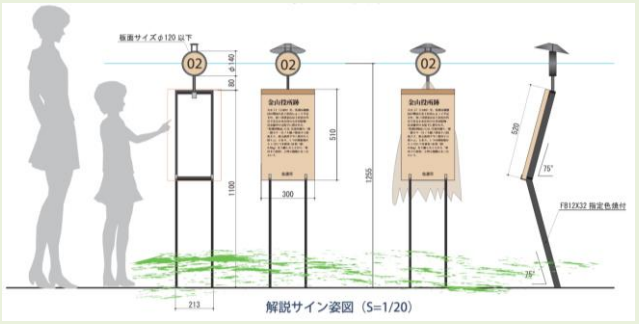
〇笹川集落案内サインと地域デザイン（新潟県佐渡市）

・国の「重要文化的景観」に選定された「佐渡西三川砂金由来の農山村景観」において、集落の歴史を来訪者へ紹介するために、散策ルート上に解説サインを設置しています。

・サインは、田園風景に馴染み、引き立つデザインとして、地域の住民の方々と協働で計画、設置し、その後のメンテナンス（冬季の取り外し等）については、地元住民が主体で取組んでいます。

・また、設置された 12 基のサインは散策マップと連動しており、来訪者の散策を促しています。





施策５－３　休憩スポットの整備　創る　条件整備

（概要）

・かずら橋周辺の散策における休憩場所や周辺の景色を楽しめる場所等において、ベンチ等を配置し、溜まりの場所を確保します。

（配慮事項等）

・溜まりの空間を確保することによって、滞在時間の延長や飲食を行う機会の増加につなげ、かずら橋観光の満足度を高めていくことが重要

・ベンチ等に座ることで、美しい眺めが見えることに気付く場合も想定されることから、効果的な位置に配置することが必要

・良好な眺望スポットやオープンスペース等の場所の選定については、地域住民や来訪者とのワークショップなどによる協働の取り組み等を検討していくことが重要

施策５－４　周辺の地域資源の活用　創る　条件整備

（概要）

・今久保の斜面集落や山草園、恵伊羅御子の墓など、かずら橋周辺に点在する地域資源の発掘とPRを図ります。

・かずら橋周辺の見どころを示した散策マップ等の作成を図り、多様な楽しみの創出に努めます。

・かずら橋キャンプ村の更なる活用方策の検討を行うとともに、徳島県水産総合技術支援センターによるさるなしプロジェクトの推進等により、地域の魅力向上に努めます。

（配慮事項等）

・バスの待ち時間などに活用できる散策ルートなどの整備

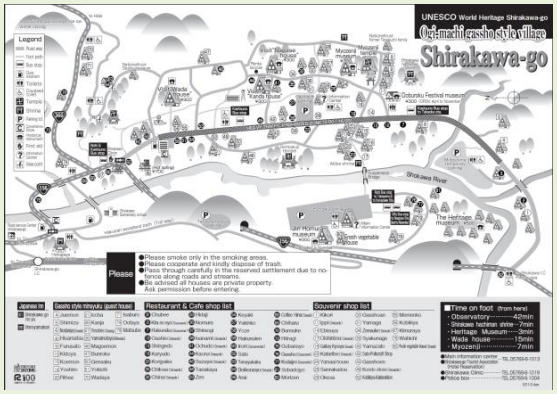
・地域特産物の生産・販売など、多様な機会を通じて、地域の活性化につながる仕組みづくり

※詳細はリーディングプロジェクト①にて検討

事例

〇多様なマップの提供（岐阜県白川村）

・白川郷観光協会では、地区別の散策マップや周辺マップ等をホームページ等にて提供しています。なお、外国人等の来訪者に向け、英語・中国語・韓国語・フランス語・スペイン語・ドイツ語・タイ語のマップの提供も行っています。



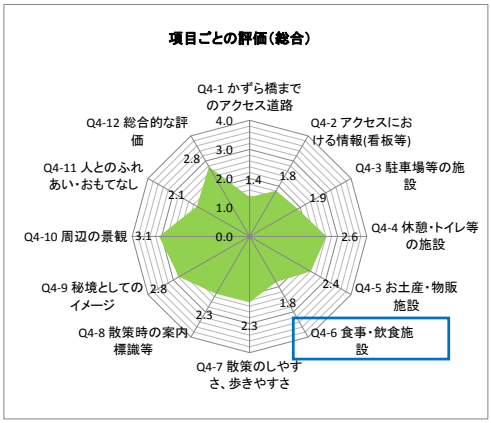
英語版の散策マップ（参照：白川郷観光協会）

プロジェクト⑥　多様な楽しみの創出（体験・食事等）

（1）現状・課題

・かずら橋夢舞台では、地域の農産物や食材などが限られていることもあり、食事・飲食施設の評価が低い状況も見られ、地域の食材や特産物を求める声も見られています。

・かずら橋の背後地には美しい斜面集落が広がり、非日常のイメージを醸し出しています。



（2）懇談会の意見（抜粋）

項目	良い所	悪い所	必要な対策
地域の特産品の提供	**■かずら橋ならではの資源** ・かずら細工（かご） ・つづらかずら	**■限られた特産品** ・「祖谷そば」の原料が他地域産であるなど、特産品が限られている ・地域の特産品が少ない **■特産品提供の場** ・特産品を提供する場が少ない（ひららやき等）	**■地域農産物等の提供** ・祖谷の農産物を提供する場・機会を創出する
祖谷の暮らしを感じる観光	**■祖谷の暮らし** ・斜面集落での暮らしや、畑作業の風景	**■斜面集落の景観阻害** ・斜面集落の田畑に立木が増え、景観が阻害されている	**■景観を阻害する立木伐採** ・斜面集落に無秩序に生える立木を伐採し、田畑を適切に管理する **■祖谷の暮らしを実感できる仕組みづくり** ・斜面集落での縁側カフェ

（3）対策方針

■かずら橋ならではの体験メニューの提供

・かずら細工の体験、斜面集落の体験（縁側カフェ等）の提供を検討します。

■地域特産品の提供

・かずら橋周辺の特産品の提供を検討します。

■かずら橋ならではの体験メニューの提供

・農家、農業体験、自然体験の強化を図ります。

・多様なイベントを検討します。

・かずら橋等の地域の歴史に関する情報発信を行います。

（4）施策イメージ

施策６－１	かずら橋ならではの体験メニューの提供	創る

（概要）

・観光客の満足度を上げ、地域住民とのふれあいの機会を高めるために、かずら橋ならではの体験メニューとして「かずら細工の体験」や「斜面集落の体験」などの創出を図ります。

・斜面集落の体験では、縁側カフェなどの整備により、来訪者と地域住民のふれあいの場の創出に努めます。

（配慮事項等）

・東祖谷の「奥祖谷めんめ塾」では、「かずら工芸体験塾」として、古式そば打ち体験などのメニューを提供しており、連携を図ることも必要

・来訪者と地域住民の交流機会の創出により、地域住民の観光に対する意識の高揚が期待

（参照：奥祖谷めんめ塾　体験工房HPより）

事例

○大間集落での縁側お茶カフェ（静岡県）

・過疎と高齢化が進む大間集落では、月に２回、集落の全ての民家が縁側を開放してお茶を振る舞う「縁側お茶カフェ」を実施しています。

（参照：平成 24 年度地域活性化ガイドブック　財団法人地域活性化センター）

施策６－２　地域特産物の開発・提供　守る・継ぐ　創る

（概要）

・かずら橋夢舞台を中心に、祖谷ならではの食事や特産物などの提供に努めます。

・その一方策として、「さるなし」のかずら橋キャンプ村での展示圃や生産振興、新たなお土産・観光農園等としての活用に取り組みます。

（配慮事項等）

・農業者等の生産者との連携の強化による、安定した供給体制の確立

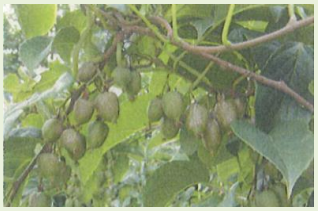
参考

〇さるなし

・雌雄異株のつる性落葉樹で、本州南部以南の温暖地では、概ね標高600m 以上の山岳地帯に自生します。

・花は白色で 5～6 月に開花、果実は 10 月頃に熟します。果実は、キウィフルーツを無毛にして小さくした 2～3cm 程度の緑色から褐色で、生食にも適するほか、ジャム・ジュース、果実酒などとして利用されています。

・つるはシラクチカズラと呼ばれ「祖谷のかずら橋」の資材として、地域との関連性が高い植物です。



※詳細はリーディングプロジェクト①にて検討

施策６－３　統一感のある町並みの形成に向けたルールづくりの検討　守る・継ぐ　除く・改善

（概要）

・かずら橋に訪れる人誰もが目にする今久保集落などにおいて、屋根の色の統一を図るなど、統一感のある町並みの形成に向けたルールづくり、景観の向上（視点場及び視対象の両面から）を目指した杉林の伐採などを検討します。

（配慮事項等）

・地域住民の理解と協力が不可欠であり、市の補助などの検討が必要

・地域住民にとってのメリット（雇用機会の創出等）の明確化が必要

事例

〇赤瓦等を活かしたまちづくり（島根県江津市）

・島根県江津市では、石見地方の特色ある景観となっている『石州赤瓦の家並み景観の保全と創出』と「地場産業（建築関連）の活性化」を目的に、赤瓦の資材費に補助を行っています。

（参照：江津市ホームページ）

施策６－４　農家・農業体験、自然体験の強化　創る

（概要）

・かずら橋周辺の農家民宿を中心に、祖谷の農家・農業が体験できる催し等を企画・運営します。

（配慮事項等）

・ホテル祖谷温泉では、自然体験ツアーとして、以下のようなメニューの提供を実施

・これらの取組みの拡大に努めるとともに、新たなメニューの創出を行うことが効果的

〇かずら橋ライトアップツアー　〇星空ウォッチングツアー
〇ホタルウォッチングツアー　〇雲海ツアー
〇電気自動車ツーリング　〇古民家見学ツアー

施策６－５　多様なイベントの検討　条件整備

（概要）

・5 月の藤の花、10 月の平家まつり、11 月の紅葉などの見ごろ、訪れ頃の情報発信の強化を図るとともに、多様なイベントの開催等により来訪者の拡大に努めます。

・また、写真の撮影スポット等の情報発信を行い、かずら橋を渡るだけでなく、回遊を促す仕組みづくりなども検討していきます。

（配慮事項等）

・四季それぞれの状況に応じたイベントの開催等による、リピーターの確保

・写真の撮影スポット等の情報発信により、滞在時間の延長による満足度の向上につながることが期待

事例

〇携帯フォトコンテスト（高知県香南市）

・携帯電話・スマートフォンの普及により、全国の観光地にて通常のカメラだけでなく、携帯電話やスマートフォンによるフォトコンテストが取組まれています。

（参照：高知県立のいち動物園）

施策６－６　かずら橋等の地域の歴史に関する情報発信

守る・継ぐ　条件整備

（概要）

・かずら橋夢舞台において、地域の歴史や文化を学ぶことができる施設の整備を検討します。

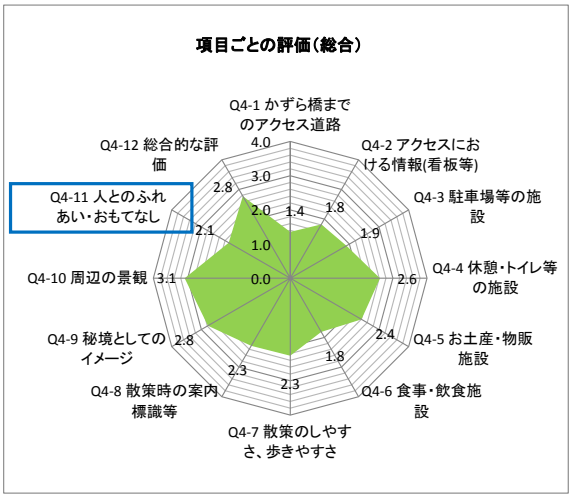
（配慮事項等）

・施設の整備に当たっては、かずら橋夢舞台の活用や空き店舗等の改修など、維持管理体制のあり方も含めた検討が必要

・かずらの模型（架け替え作業、現物等）の配置など、見る・触れることのできる施設としての検討が必要

プロジェクト⑦　おもてなしの心の醸成

（1）現状・課題



・観光客からは観光ガイドなどの案内の強化を求める意見もあり、その対応が求められています。

・かずら橋周辺の観光に関する項目ごとの評価について、「人とのふれあいおもてなし」の評価は高いとは言えない状況にあり、その改善が必要です。

・地域住民の一部には、観光は自分と関係ないとの意見がみられます。観光客が増えることにより、地域の活性化につながり、ひいては若者の流出に歯止めを欠けることにつながるとの意識のもと、地域住民が一丸となって観光客をもてなす意識を高めることが重要です。

（2）懇談会の意見（抜粋）

項目	良い所	悪い所	必要な対策
ガイドによる地域の案内		**■ガイドの不足** ・かずら橋のガイドが必要 ・ガイドの出番が少ない	**■目を引く案内の実施** ・鎧を着た人がかずら橋の周辺を案内
おもてなしの意識		**■住民の意識** ・一部の住民には、観光が自分の生活には関係ないとの意識があり **■地域の人との交流の場の不足** ・地域の歴史などを説明してくれる人がいない	

（3）対策方針

■かずら橋ならではのもてなし

・地域イメージを高める観光ガイドの強化に努めます。

・地域が一体となったもてなしの意識づくりに努めます。

（4）施策イメージ

施策７－１　地域イメージを高める観光ガイドの強化　創る

（概要）

・観光に携わる人々の意識を高めるとともに、観光ボランティア等の養成や組織化を図り、来訪者をもてなす体制の構築を検討します。

・また、平家伝説などのイメージを活かし、観光ガイドが鎧を着て案内するなどの工夫を検討します。

（配慮事項等）

・来訪者と地域住民がふれあう機会を積極的に創出することにより、観光の魅力アップと地域住民の意識向上の相乗効果を期待

事例

〇街角案内人（愛媛県松山市）

・道後温泉周辺では、小説「坊ちゃん」の登場人物である「坊ちゃん」や「マドンナ」扮した街角案内人が来訪者を迎え、記念写真や道案内などを行っています。

（参照：松山インフォメーション HP）

施策７－２　地域が一体となったもてなしの意識づくり　創る

（概要）

・かずら橋周辺の地域では、観光が基幹産業となることから、地域が一体となったもてなしの意識づくりを高めていくことが重要です。そのため、観光のもてなしに関する事例紹介や表彰制度の確立等を検討し、地域住民の意識づくりに努めます。

（配慮事項等）

・地域住民のもてなしの意識づくりのためには、インセンティブとなるものの検討が必要

事例

〇萩おもてなし大賞（山口県萩市）

・観光立市の萩として、観光客に旅先の心のやすらぎ、満足を得てもらうために模範となる活動をしている個人、団体を表彰する事業を行っている。表彰は、郵送、FAX、e-mail 等による推薦としている。

【推薦の理由の例】

・観光客にいつも気軽に挨拶や道案内をして喜ばれている人
・宿泊した宿で心温まる対応をしてくれた従業員
・笑顔で誰にでも感じのいいサービスや対応をするお店
・人がよく利用する所を定期的に掃除している人

プロジェクト⑧　かずら橋夢舞台のターミナル機能の強化

（1）現状・課題

・かずら橋への来訪者のほとんどが、かずら橋夢舞台を利用する状況にあり、かずら橋夢舞台の情報発信やサービス向上が重要です。

（2）懇談会の意見（抜粋）

項目	良い所	悪い所	必要な対策
周辺の観光資源との連携	**■良好な眺望** ・竜ヶ岳や熊谷などの良好な眺望スポットが存在 ・雲海などの楽しみ **■周辺の資源** ・古宮神社、ロッククライミング、剣山、二十かずら橋、雲海、落合集落等	**■交通機関の不足** ・バスが１日３本であり、観光客の行動が限定される **■周辺の観光地の狭隘道路** ・落合集落や篦庵までのアクセス路が狭い	**■新たな名所発掘** ・かずら橋周辺の美しい景観を眺めることが出来る眺望点と新たに発見・整備する。
かずら橋の情報発信		**■情報発信の不足** ・平家伝説の更なるアピールが必要 ・大歩危入口に祭りの日程・内容の案内が必要	

（3）対策方針

■かずら橋夢舞台のターミナル機能の強化

・かずら橋夢舞台を拠点とした周遊バスの検討を行います。

・かずら橋夢舞台のサービス向上を図ります。

■情報発信機能の強化

・かずら橋夢舞台の ICT 化を検討します。

（4）施策イメージ

施策８－１	かずら橋夢舞台のターミナル機能の強化	条件整備

（概要）

・周辺観光地への周遊を阻害する要因の一つとして、交通手段の不足が指摘されています。

・かずら橋夢舞台の立地特性を活かし、たとえば、かずら橋夢舞台をターミナルとしたワンコインバス（収益を考慮すれば最低ワンペーパーバス）の検討やレンタサイクル等の取組みを行うなど、かずら橋の拠点性を活かした周遊機会の創出を図ります。

（参照：四国交通HP）

（配慮事項等）

・四国交通株式会社が取組んでいる定期観光バスとの連携や維持管理コストへの配慮を行いつつ、来訪者の立場に適した交通サービスの提供を検討

事例

〇ボンネットバスの運行（岡山県高梁市）

・重要伝統的建造物群保存地区「吹屋ふるさと村」を有する高梁市では、観光ボンネットバスを運行しています。

（参照：高梁市 HP）

施策８－２　かずら橋夢舞台のサービス向上　条件整備

（概要）

・かずら橋周辺にて食事をとる際に、駐車料金の負担を避けるために、かずら橋夢舞台の利用を避けるという声もあることから、施設内で買い物や食事をした人への駐車料金の割引サービスなどの検討を行います。

（配慮事項等）

・指定管理者制度による運営管理であり、収益性の確保への配慮が必要

施策８－３　かずら橋夢舞台の ICT 化　条件整備

（概要）

・かずら橋夢舞台における観光案内機能を強化するため、施設の ICT 化に取組みます。

（配慮事項等）

・公衆無線 LAN の設置やタッチパネル式の観光案内板（多言語）等の検討

・スマートフォンのアプリを活用するなど、携帯端末の普及状況を踏まえた施策の検討が必要

プロジェクト⑨　周辺の魅力的な資源の発掘・情報発信の強化

（1）現状・課題

・かずら橋周辺には、重要伝統的建造物群である落合集落や奥祖谷の二重かずら橋、雲海など、かずら橋以外にも魅力的な観光地や地域資源を有しています。

・しかしながら、落合集落の認知度が低いなどの状況もあり、かずら橋から周辺の様々な観光地への周遊を促すことが重要です。

（2）懇談会の意見（抜粋）

項目	良い所	悪い所	必要な対策
周辺の観光資源との連携	**■良好な眺望** ・竜ヶ岳や熊谷などの良好な眺望スポットが存在 ・雲海などの楽しみ **■周辺の資源** ・古宮神社、ロッククライミング、剣山、二十かずら橋、雲海、落合集落等		**■新たな名所発掘** ・かずら橋周辺の美しい景観を眺めることが出来る眺望点と新たに発見・整備する。
かずら橋の情報発信		**■情報発信の不足** ・平家伝説の更なるアピールが必要 ・大歩危入口に祭りの日程・内容の案内が必要	

（3）対策方針

■かずら橋周辺の魅力的な資源発掘活動の推進

・観光資源の整理・発掘を行います。

■情報発信の強化

・多様な手段による情報発信の強化を図ります。

（4）施策イメージ

施策９－１　かずら橋周辺の魅力的な資源発掘活動の推進　創る

（概要）

・かずら橋周辺の観光資源（二重かずら橋や落合集落等）との連携強化を図るとともに、新たな名所（眺望点等）を発掘します。

・また、これらの名所を巡る観光ルートを検討します。

（配慮事項等）

・来訪者による眺望スポット発掘コンテスト等、地域住民や来訪者の参加型の取り組みなどの検討

施策９－２　情報発信の強化　条件整備

（概要）

・官民連携のもと、既存の情報発信手段の強化を図るとともに、新たな情報発信手法の調査・研究を行います。

（配慮事項等）

・スマートフォンアプリによる観光案内など、携帯端末を活かした新たな情報発信手法等の検討が重要

事例

〇智頭町総合案内所（鳥取県智頭町）

・智頭駅前にある総合案内所、観光協会事務所や特産品の展示販売コーナー等を兼ね備えた施設です。館内には、くつろぎスペース、各種観光パンフレットコーナーや情報端末などがあり、気軽に町の観光情報を得ることが可能です。

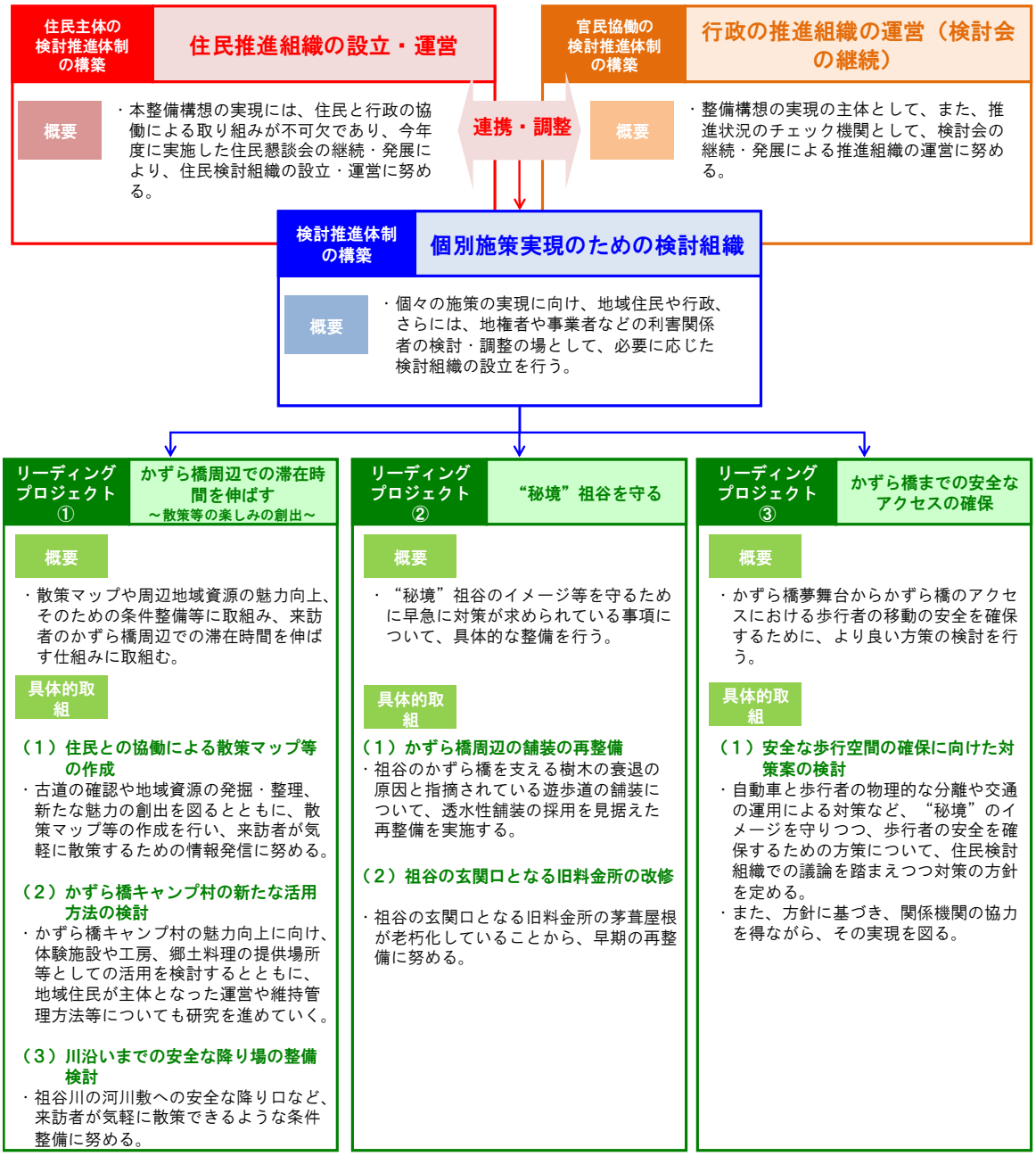
・「杉の町」として有名であり、全て智頭材を使用した施設です。

（参照：智頭町観光協会 HP）

第５章　住民との協働によるリーディングプロジェクト

住民懇談会の検討結果等を踏まえ、かずら橋周辺の活性化に起爆剤となり、地域住民からも要望の高い施策等をリーディングプロジェクトと位置付け、整備構想の先導的な役割として、その実現に努めるものとします。

■推進体制



リーディングプロジェクト①	かずら橋周辺での滞在時間を伸ばす　～散策等の楽しみの創出～

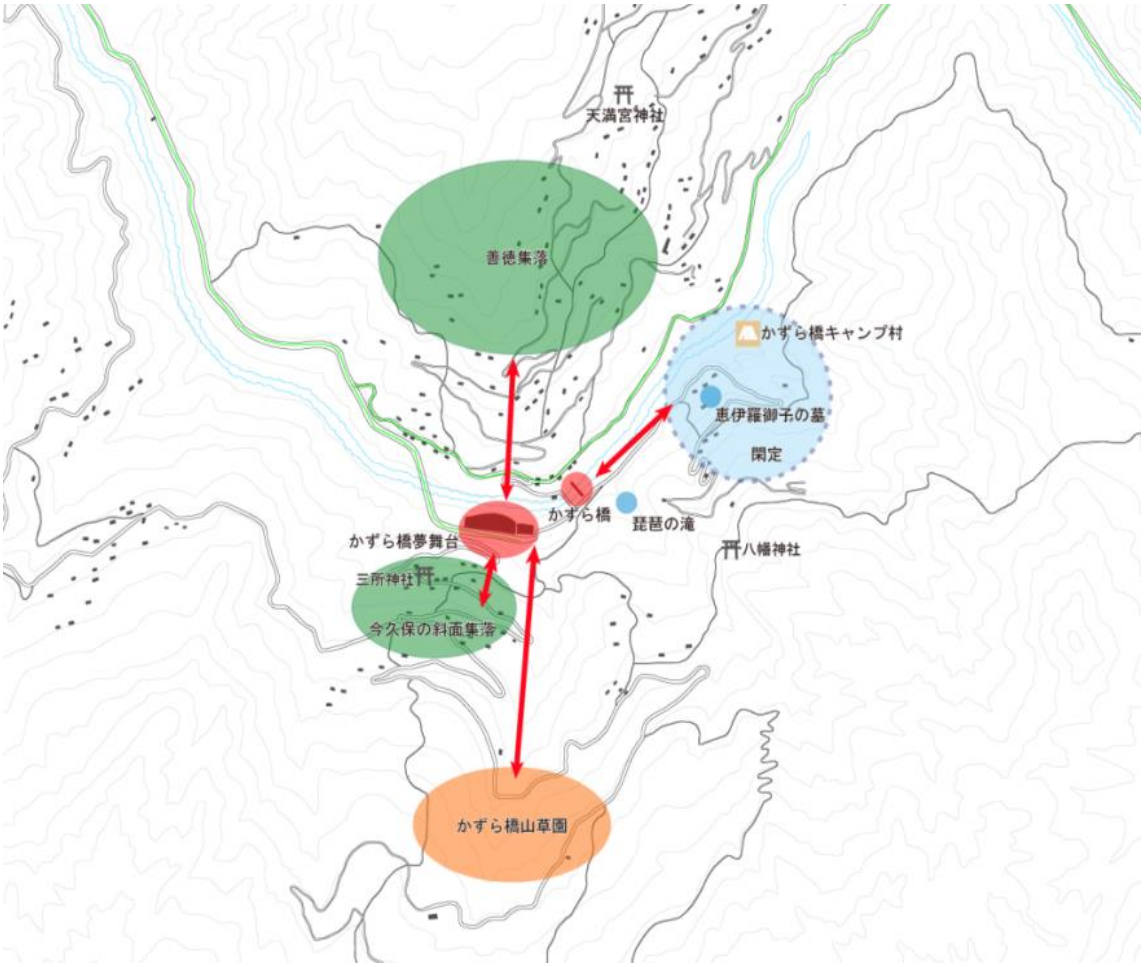
具体的取組①－１　住民との協働による散策マップ等の作成

・住民懇談会においてかずら橋周辺の魅力的な施設としてあげられた、「かずら橋キャンプ村」や「恵伊羅御子の墓」、「かずら橋山草園」などの地域資源、「古道」などの発掘・整理を行います。

・発掘・整理に当たっては、地域住民が主体となった検討組織のもと、地域の高齢者等に古道の確認を行うとともに、現地での草刈りイベント等を行います。

・また、縁側カフェなどの新たな魅力の創出に努めるとともに、それらの情報を整理した散策マップを作成します。

・マップの作成に当たっては、かずら橋に関する Q&A を掲載するなど、来訪者と住民とのコミュニケーションツールとして活用できるような工夫を検討します。



具体的取組①－２　かずら橋キャンプ村の新たな活用方法の検討

・かずら橋キャンプ村は、利用者の低迷等から運営や維持管理費等が問題となっています。周遊における一つの拠点として、かずら橋キャンプ村の魅力向上を図り、散策時等における目的地の一つとしての存在感を発揮させることが不可欠です。
・今後、立ち寄り場所としての機能の拡充に向け、体験施設や工房、郷土料理の提供場所等としての活用を検討します。
・また、検討段階から地域住民の参画を促し、地域住民が主体となった運営や維持管理方法等についても研究を進めていきます。

かずら橋キャンプ村

・かずら橋キャンプ村の新たな活用方策の一方策として、徳島県農林水産総合技術支援センターの「さるなしプロジェクト」における展示圃としての利用を進めていきます。

■参考:さるなしプロジェクト(祖谷のさるなし(仮称))の概要

(目的と展開)

・地元に古来からあるサルナシで、女性や高齢者にも容易に取組むことができる品目であり、耕作放棄地や遊休農地の利活用が期待できる。

・西日本には産地が少ない。生食や加工品開発の他、健康食品としても需要が見込めることなどからサルナシの生産・栽培を推進する。

・サルナシ果実の「高貴な香りとまろやかな甘さ」を最大限に生かした商品開発と販売戦略を進めるため、農商工連携で地域の活性化を進める。

・「そらのそば」に続く、第 2 弾として名所「祖谷のかずら橋」の知名度を最大限に活かした売込み、“「祖谷のさるなし(仮称)」”で、周回遅れのトップリーダーになる。

(「祖谷のかずら橋」とタイアップした取組(得意分野で連携))

西部総合県民局 ・栽培技術の確立、青果出荷、加工品開発、有料系統の探索 ・「祖谷のかずら橋」とタイアップ、お土産・観光農園として	**農林水産総合技術支援センター** ・優良系統の苗木生産技術の確立 ・栽培技術の確立	**三好市** ・展示ほの設置、生産振興、お土産など
ＪＡ ・「渓谷の旬(つまもの)」での販売、青果出荷、優良苗木の育成	**藤の里** ・加工品の開発・販売、原料買い入れ	

参照:農林水産総合技術支援センター農産園芸研究課果樹担当作成資料より抜粋

(かずら橋キャンプ村における“さるなし”の展示圃の整備状況)

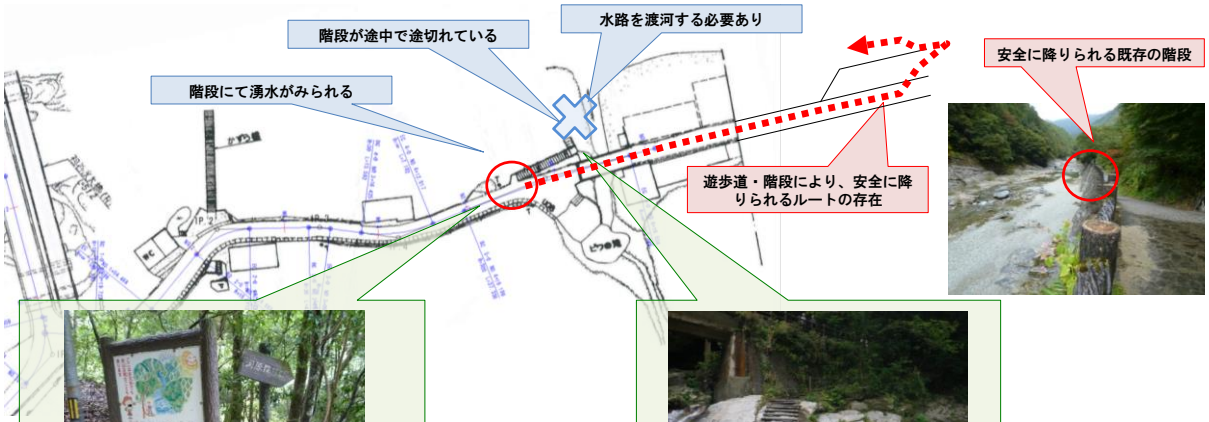
・かずら橋周辺での食や体験機会の創出、さらには地域住民の所得向上や耕作放棄地解消等の多様な効果が期待されます。

具体的取組①－３　川沿いまでの安全な降り場の情報提供

・多くの観光客が、河川沿いにて休憩や水とのふれあい、かずら橋の下からの眺め等を楽しんでいます。しかしながら、琵琶の滝前の降り口では、階段が途中までしか整備されていない状況にあるとともに、琵琶の滝から流れる水路を渡る必要があり、観光客等が降りるのに苦労している状況がみられます。

・一方で、東側の遊歩道から安全に降りることのできる階段が整備されていますが、案内等の不足により、来訪者等は気づかない状況にあると想定されます。

・このような状況を踏まえ、基本的には東側に位置する安全に降りられる階段を利用して河川沿いに降りていただくこととし、その条件整備として案内板の設置を行います。



具体的な対策①－３－１
案内の充実（降り場の選択肢の提供）

・琵琶の滝前において「河原降り口」の看板が整備されているが（写真右側の矢印看板）、安全に降りられる東側の遊歩道・階段の情報提供（看板の設置）を行う。

具体的な対策①－３－２
危険な降り場であることの明示

・安全な降り場として改善することは困難な状況にあることから、基本的には東側の階段を利用するよう促していく。

リーディング プロジェクト②	“秘境”祖谷を守る

具体的取組②－１　かずら橋周辺の舗装の再整備

・かずら橋は３年に一度架け替えを行っていますが、かずら橋を支える樹木が近年弱体化の傾向にあります。
・周辺の道路や遊歩道において、透水性舗装の採用を図るなどにより、かずら橋の弱体化に歯止めを欠けます。
・舗装の色彩や種類については、住民検討組織での意向を把握するなど、景観等に配慮していきます。
・また、かずら橋夢舞台からのアクセス道路の改修（リーディングプロジェクト③）との連続性にも配慮します。

具体的取組②－２　祖谷の玄関口となる旧料金所の改修

・祖谷の玄関口となる旧料金所の茅葺屋根が老朽化し、屋根の茅葺が落下する恐れも高まっていることから、早期の改修を検討します。
・改修に当たっては、情報発信機能の強化を図るとともに、祖谷の玄関口としてふさわしい配置等も含めて検討を行います。

リーディングプロジェクト③	かずら橋までの安全なアクセスの確保

（かずら橋夢舞台からかずら橋までの道路の状況）

・かずら橋夢舞台からかずら橋までの道路は、急勾配などで歩きづらい（特に、高齢者等）状況にあり、冬季などの転倒の危険性が指摘されています。

・来訪者の危険性を解消するためにも、地域住民からも早急な対策が求められています。

（簡易測量の結果を踏まえた問題点）

・起点（かずら橋夢舞台出口付近）から終点（新祖谷渓大橋）までの勾配の平均は約９％となっています。

・急勾配の箇所は部分的となっていますが、最大 19%を超える勾配の区間もみられます。

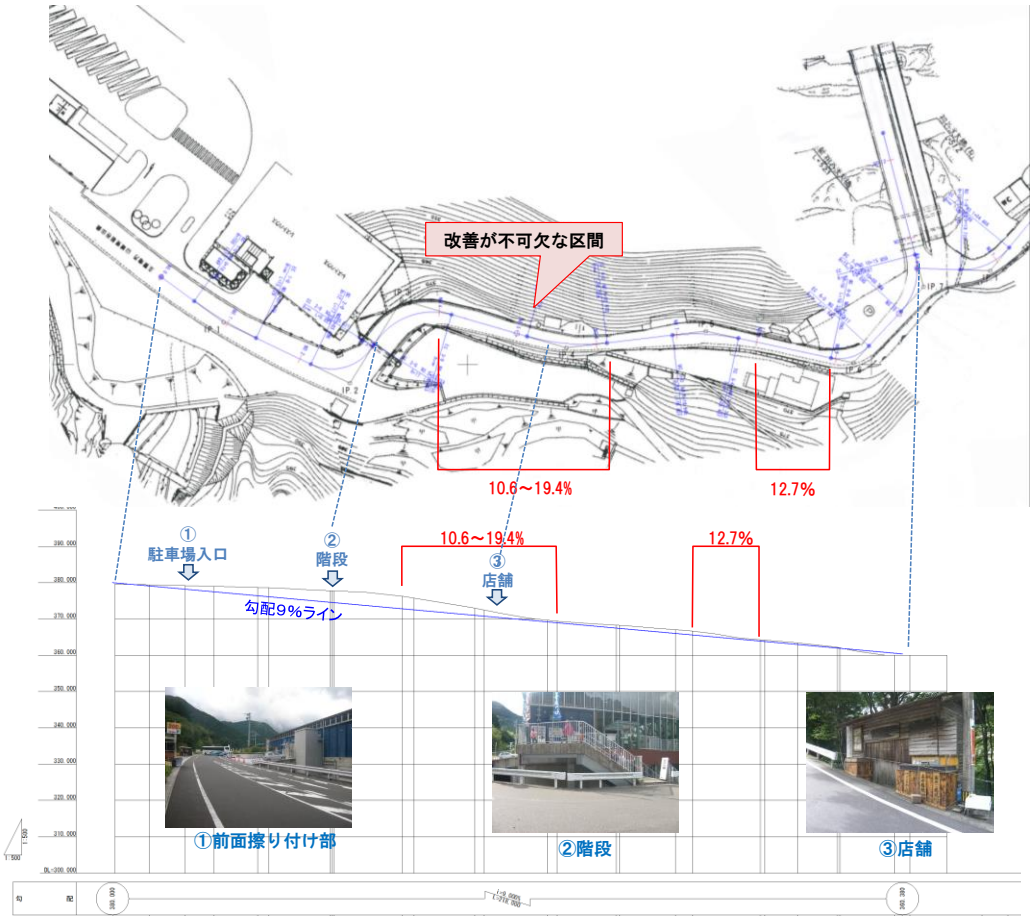


図　周辺の状況（簡易測量結果）

※簡易測量での結果であり、詳細な測量を行った場合には多少の誤差が生じる可能性があります。

（急勾配の改善の検討に向けた前提条件）

・局所的な急勾配の改善を行うためには、前後の緩やかな勾配の区間との調整が不可欠です。

・区間全体の平均が９％であることから、９％より緩やかな区間を確保することは困難です。

⇒ 道路構造令の規定値に従い、最大勾配は９％での改善を行うには、全区間での調整が不可欠となり、かずら橋夢舞台等との取付が困難となります。

⇒ ９％よりも緩やかな勾配として改善すること、かずら橋夢舞台への影響を避けるためには、大幅な線形の改良が不可欠です。

⇒ 積雪地帯であるため 7.5%、歩行者に配慮すれば 5%（やむを得ない場合には 8%）が望まれますが、現実的には確保が困難です。

参考：普通道路の場合の縦断勾配（道路構造令）

設計速度 (km/h)	縦断勾配	
	規定値	特例値（第３種）
120	2	5
100	3	6
80	4	7
60	5	8
50	6	9
40	7	10
30	8	11
20	9	12

具体的取組③　安全な歩行空間の確保に向けた対策案の検討

・縦断勾配の大きな改善は、現実的に困難であることを踏まえたうえで、安全な歩行空間の確保に向けた対策として、以下の３つのケースを検討します。

（対策案の方針）

①歩行者・自動車通行帯の視覚的な分離

②歩行者の新たな動線の確保

③混雑時における通行車両の抑制

危険性の要因

車両と歩行者の錯綜

・季節や時間帯によって、車両の通行が増え、歩行者との錯綜が生じている。

局所的な急勾配

・縦断勾配が急な区間があるため、転倒等の危険性を有している。特に、冬場の積雪時における転倒事故などが生じている。ただし、急勾配の区間は部分的である。

求められる対策

車両と歩行者の分離

・歩行者の安全性を確保するために、車両と歩行者の通行空間を分離する。

車両の（速度・交通量）抑制

・歩行者の安全性を確保するために、車両の速度抑制や交通量の抑制を図る。

緩やかな動線（歩行通行帯）の確保

・現道の勾配の改善が困難な状況の中で、現況の地形や施設を活かした新たな動線を確保する。

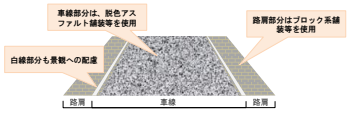
滑りにくい舗装等への改善

・積雪時等における転倒事故などの防止のため、滑りにくい舗装の採用を図る。

対策案の方針

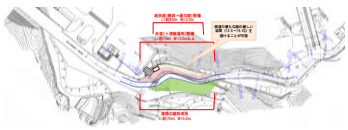
歩行者・自動車通行帯の視覚的な分離

・路肩部分への異なる舗装の採用により、歩行者と自動車の通行帯への視覚的な分離を図る。



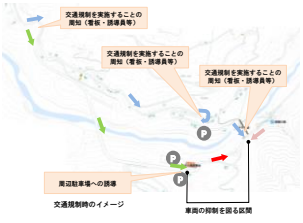
歩行者の新たな動線を確保する

・特に著しい勾配の区間において、新たな歩行者通行空間を確保する。



混雑時における通行車両の抑制

・混雑時等において、交通運用により車両の通行を抑制する。



対策案③－１　路肩部分への異なる舗装の採用

・かずら橋駐車場からかずら橋までの区間において、車線部分と路肩部分に異なる舗装を採用し、視覚的に自動車の通行帯を強調します。

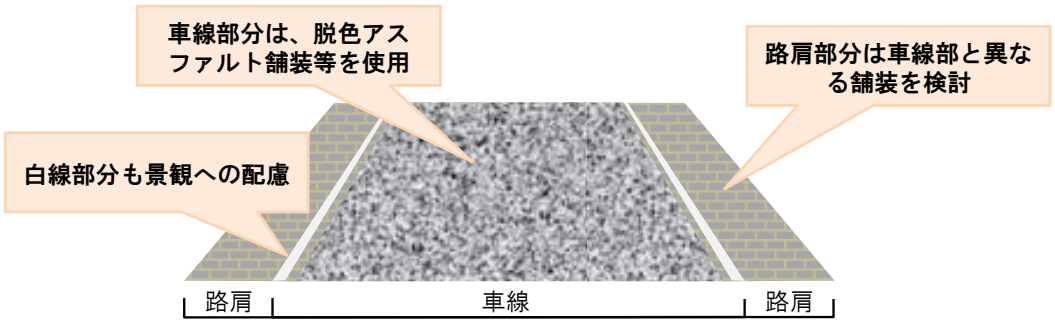


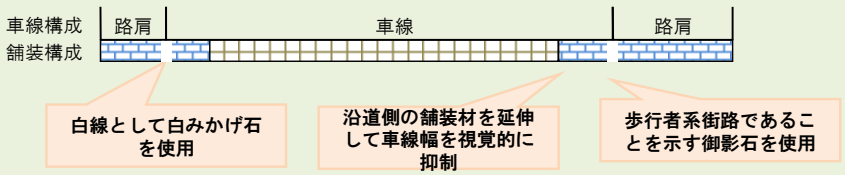
図　舗装整備のイメージ

分類	採用する舗装の視点
共通	・景観に配慮した舗装とする ・かずらの保護に向け透水性舗装とする（かずら橋周辺との連続性の配慮）
車線	・車両の通行により損傷や不陸が生じない舗装とする
路肩	・歩きやすさ（滑りにくい舗装材等）に配慮した舗装とする ・車線部と異なることが明確となる舗装とする

事例

〇津和野町本町・祇園丁通り（島根県津和野町）

・江戸時代のままの幅員に電柱が立ち並び、車が主役となっていた道路を歩行者のためのみちとして再生が行われています。舗装の美装化等により、沿道と調和した街路空間の創出を図っています。



（参照：津和野本町・祇園丁通り　国土交通省資料 http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/dorokeikan/pdf/007.pdf ）

（舗装構成の検討）

・車線部は、車両の通行に考慮し、施工性や経済性を踏まえ脱色アスファルト舗装等の採用を検討します。

・路肩部は、色違いの脱色アスファルト舗装や透水性コンクリート舗装等の採用を検討します。

・また、車線空間の明示としてブロック（幅 15 ㎝）の設置を行い、その際、路肩部分の舗装を車線空間に広げ視覚的に車線幅員を狭めることで、車両の速度抑制につなげるなども検討します。

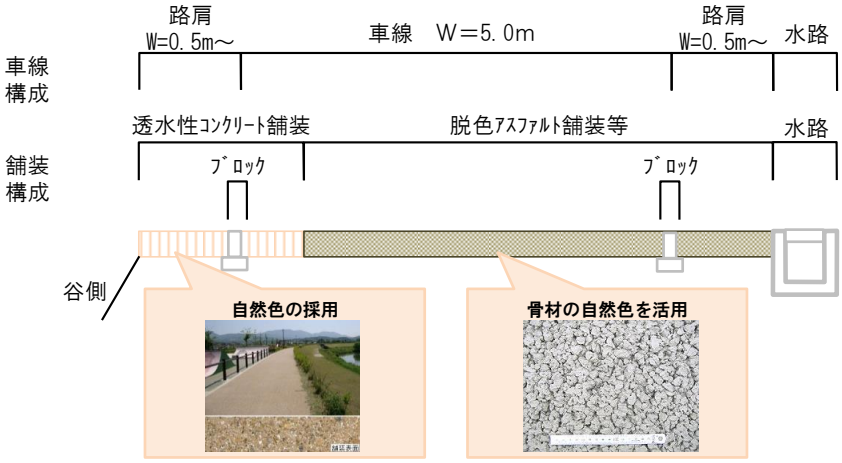


図　舗装構成の検討イメージ

（舗装整備の対象範囲の検討）

・舗装整備の対象範囲については、以下のような方針とします。

方針	対象範囲（案）	留意事項
主要な歩行者動線	・各駐車場からかずら橋までの移動区間（両岸ともに）	・橋梁区間は、橋梁の補修時期等の実施を検討
かずら橋周辺の回遊を促す	・かずら橋から琵琶の滝までの区間	・河川沿いの遊歩道への降り口までの延伸も検討
かずら橋の弱体化の防止（②－１との調整）	・かずら橋ふもと（左岸側）	・早期の事業着手

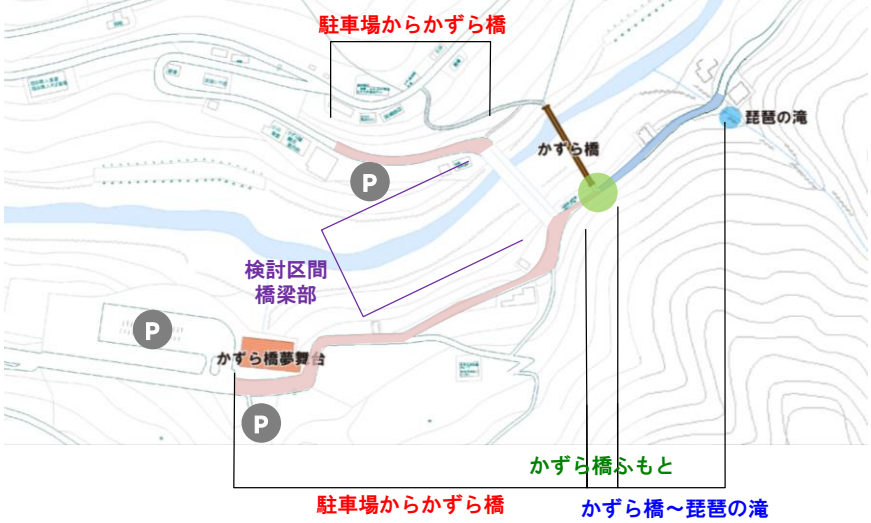


図　舗装整備の対象区間（案）

対策案③－２　歩行者の新たな動線（階段＋緩勾配）の確保

・現道のもっとも勾配の厳しい区間を対象に、道路線形の改良を行うとともに歩行者通行空間の確保を行います。

・歩行者通行空間については、階段と緩勾配の組み合わせとし、急勾配での転倒等を防止します。

※本対策案の採用に当たっては、既存の擁壁（軽量盛土）の構造等を踏まえた詳細な検討が必要です。

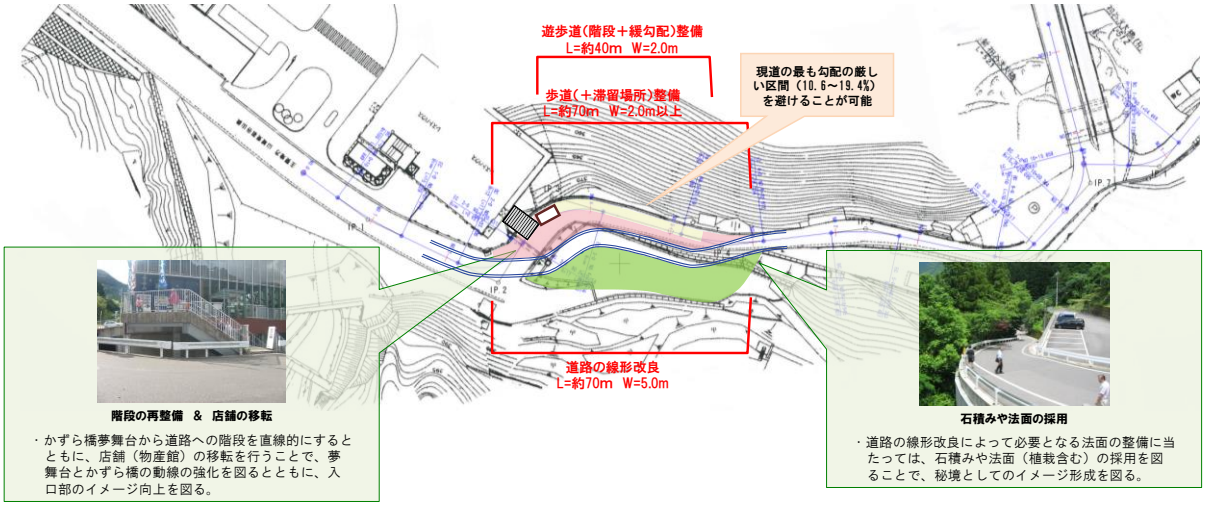


図　整備イメージ図

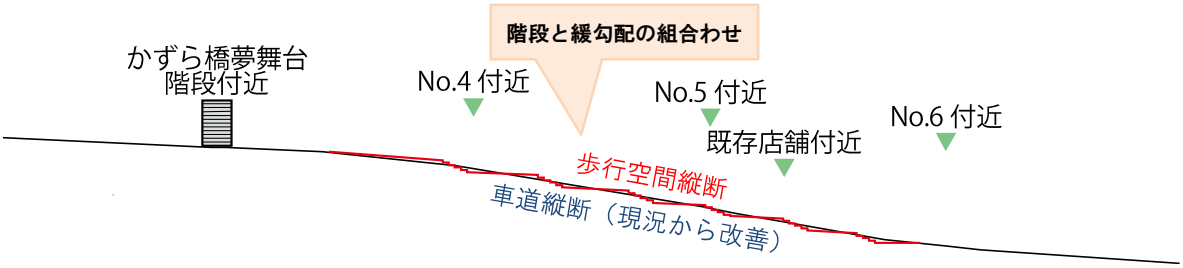


図　縦断イメージ

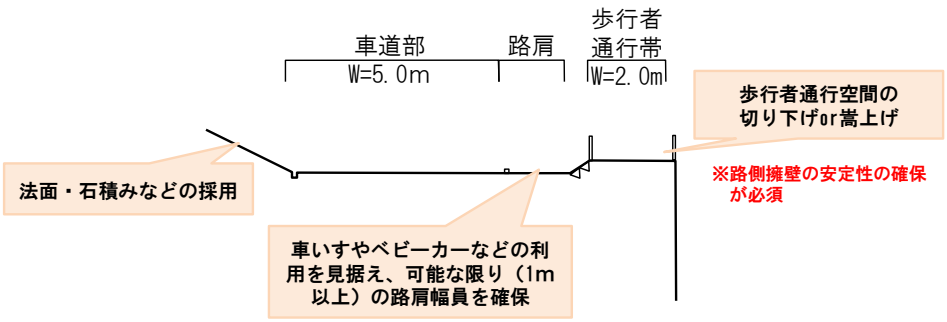


図　横断イメージ

事例

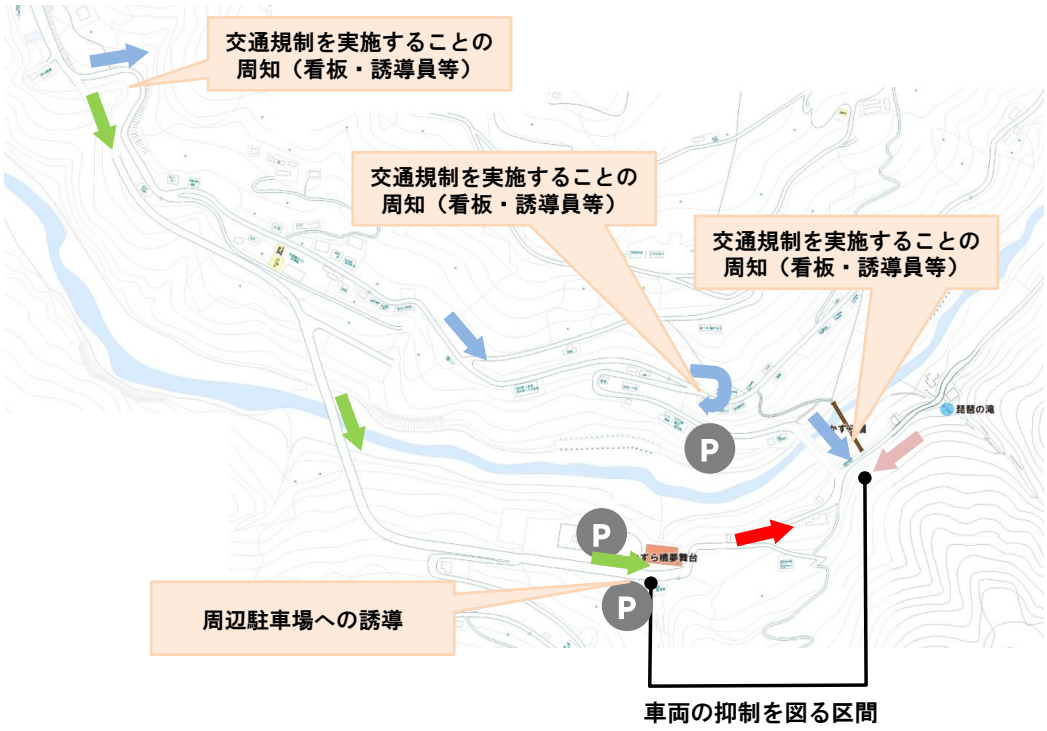
〇島根県出雲大社神門（しんもん）通り

・大雨や凍結した時には歩きにくくなるため、階段と平場が組み合わされたサブ動線が確保されています。

（参照：島根県 HP）

対策案③－３　混雑時における通行車両の抑制等

・混雑時において、かずら橋夢舞台からかずら橋の区間での一方通行による交通規制や交通誘導員の配置などにより、安全性の確保を行います。



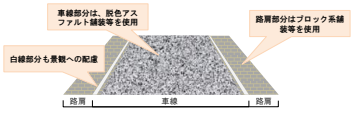
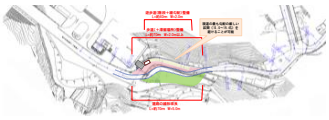
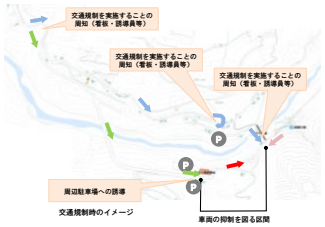
■検討事項（一例）

抑制の方法	交通規制（一方通行）	交通誘導員の配置
概要	・混雑時（時期・時間帯）において、かずら橋夢舞台からかずら橋手前の橋までを東向き一方通行とする。	・対象区間に交通誘導員を配置する。あわせて周辺駐車場の一元管理により、かずら橋夢舞台の入口部にて駐車場への誘導を行う。
期待される効果	・自動車の通行が一方向となることから、歩行者の安全性向上が期待	・交通誘導員の配置により、歩行者の安全性向上が期待
課題等	・交通規制として交通管理者等との調整が必要 ・来訪者の理解と協力が必要であり、交通誘導員の配置などが不可欠 ・通過交通への影響が生じる	・旧道側から駐車場へアクセスする車両への対策が必要 ・車両・歩行者が混雑する場合、
その他（付加価値）	・歩行者を優先とした観光地としてのイメージ向上が期待	・交通誘導員が落ち武者の格好をするなどにより、観光地としてのイメージ向上を図る対策が可能

■具体的取組③のまとめ

かずら橋周辺の安全な歩行空間の確保に向けた対策については、先述に示した３案を複合的に進めていくことを目指していきます。

ただし、対策案③－２の実現には、時間や予算等を要することから、対策案③－３を社会実験的に実施し、その問題点や改善点を把握するなど、早期の効果発言に向けた検討を進めていきます。

対策案	対策案① 路肩部分への異なる舗装の採用	対策案② 歩行者の新たな動線 （階段＋緩勾配）を確保する	対策案③ 混雑時における通行車両の抑制等
概要	・現在の道路幅員のままで、車線部分と路肩部分に異なる舗装を採用することで、視覚的に車両の通行帯を強調する。	・道路線形の改良を行うとともに歩行者通行空間の確保を行う。 ・歩行者通行空間については、階段と緩勾配の組み合わせとする。	・混雑時において、かずら橋夢舞台からかずら橋の区間での一方通行による交通規制や交通誘導員の配置などにより、安全性の確保を行う。
イメージ			
安全性	○舗装の再整備により、冬季における歩行者等の転倒防止への寄与が期待される。 ○視覚的に分離されることで、車両の速度抑制等の効果も期待される。 ×幅員や勾配の改善は困難であり、混雑時には錯綜等が懸念される。	△限られた空間ではあるが、歩行者と自転車の物理的な分離が可能となる。 ○階段と緩やかな勾配での移動が可能となる。	○交通誘導員の配置や車両の進入抑制により、安全性を確保することが可能となる。 ×限られた時期の対策となる。
日常交通への影響	○視覚的に分離されることで、速度抑制等の効果も期待される。	○道路の線形改良等により、円滑性が高まる。	△対策の方法（一方通行等）によっては、一般車両への影響が生じる。ただし、混雑時の限定された期間である。
景観	○現況の地形等に影響を与えることなく、景観に配慮した舗装の採用により、景観の向上が期待される。	△法面や構造物などの整備が必要になり、現地の地形を変更する必要がある。ただし、石積みの採用など、景観に配慮することが可能。	△現状と変化なし。
実現性	○舗装の更新であり、比較的短期での実現が可能である。	△既存の擁壁（軽量盛土）の構造等を踏まえた詳細な検討が必要である。 ×大規模な工事となり、工事期間中の通行への影響が懸念される。	○社会実験的な取組みなどにより、効果を確認することも可能である。 ×駐車場料金の統一など、関係者の意思統一が不可欠である。
その他	△対策案②と複合的な取組みが可能である。	○道路の線形改良とあわせて、夢舞台入口部の高質化（滞留空間の確保）を図ることが可能である。 △対策案①と複合的な取組みが可能である。	○誘導員が落ち武者の格好をするなどの工夫により、観光地としてのイメージ向上につなげていくことが可能となる。 ○他の対策との複合的な取組みが可能である。

第６章　プロジェクトの推進に向けて（推進に向けた実行計画）

“秘境 祖谷”の活性化に向けたプロジェクトの具体施策について、その実現に向けて役割分担や実施時期を明確にした実行計画として整理します。

プロジェクト	番号	施策	方針	概要	役割分担	実施時期					備考
						～3 年	～5 年	～7 年	～10 年	10～	
①来訪者の動線上の“秘境感”を高める	１－１	情報発信スポットの整備検討	条件整備	・JR 大歩危駅付近における情報発信スポットの整備検討	市						
	１－２	祖谷の玄関口となる旧料金所の改修	守る・継ぐ 除く・改善	・旧料金所の茅葺屋根の改修	市・県						リーディング②
			条件整備	・改修とあわせた情報発信機能の強化（観光案内板等の整備検討）	市						
	１－３	自然景観を楽しめる沿道の再整備	条件整備	・眺望スポットにおける休憩スペース等の確保の検討	市・県						
			除く・改善	・眺望スポットにおける沿道沿いの樹木の適切な維持管理	市・県						継続
			創る	・来訪者が必ず目にする今久保の斜面集落の景観向上及び PR の強化	市						継続
②かずら橋夢舞台の改善	２－１	かずら橋夢舞台の緑化の更なる推進	除く・改善	・夢舞台の柱の緑化に向けた調査研究	市						
③祖谷のかずら橋自体の更なる魅力の向上	３－１	樹木の弱体化に歯止めを欠ける	守る・継ぐ	・秘境のイメージに適した透水性舗装の採用	市・県						リーディング②
	３－２	夜間の魅力を高める	創る	・夜間の散策が可能となる幻想的なムードを醸し出す照明の整備（夢舞台～かずら橋～琵琶の滝）	市						
	３－３	かずら橋周辺施設の秘境感を高める	創る	・かずら橋料金所の改修（茅葺屋根への更新）	市						
	３－４	かずら橋の魅力の PR	条件整備	・かずら橋夢舞台における四季折々の写真の展示や架け替え作業のビデオ上映	市・地域住民						継続
④かずら橋夢舞台からかずら橋周辺の質的向上	４－１	安全な歩行空間の確保	除く・改善	・安全な歩行空間の確保に向け、地域住民や行政等のメンバーから構成される検討組織での検討	市・県・地域住民						リーディング③
			条件整備	・方向性に基づき、安全な歩行空間の確保対策	市・県・地域住民						リーディング③
	４－２	空き店舗等の撤去・活用	除く・改善	・空き家等の所有者の理解と協力を得て、老朽化した空き店舗等の撤去	市・地域住民						
			条件整備	・活用可能な店舗等を地域特産物の販売や祖谷の歴史を伝える学習施設等として活用。	市・県・地域住民						
	４－３	既存店舗の修景・景観誘導	創る	・既存店舗の建て替え等の更新時期にあわせて、秘境のイメージを重視した修景・景観整備を誘導。	市・地域住民						

プロジェクト	番号	施策	方針	概要	役割分担	実施時期					備考
						～3 年	～5 年	～7 年	～10 年	10～	
⑤周辺の回遊を促す	５－１	周遊ルートの整備	条件整備	・水辺への降り口を、多くの人が安全に降りられる階段等へ整備	市・県・国						リーディング①
			条件整備	・河川沿いに整備されている遊歩道において、眺望スポットの整備やキャンプ場までの延伸を検討	市・県・国						
	５－２	回遊を促すサインの整備	創る	・観光客の動線や周遊ルートの整備を踏まえた周辺のサイン計画の検討	市						
			条件整備	・サイン計画を踏まえた総合案内板や誘導標識等を整備。	市・県・国						
	５－３	休憩スポットの整備	条件整備	・ベンチ等を配置し、溜まりの場所を確保	市						
	５－４	周辺の地域資源の活用	創る	・今久保の斜面集落や山草園、恵伊羅御子の墓など、かずら橋周辺に点在する地域資源の発掘と PR を図る。	市・地域住民						リーディング①
			条件整備	・かずら橋周辺の見どころを示した散策マップ等の作成し、多様な楽しみの創出	市・地域住民						リーディング①
⑥多様な楽しみの創出（体験・食事等）	６－１	かずら橋ならではの体験メニューの提供	創る	・観光客の満足度を上げ、地域住民とのふれあいの機会を高めるために、「かずら細工の体験」や「斜面集落の体験」などを創出	市・地域住民						
			創る	・斜面集落の体験では、縁側カフェなどの整備により、来訪者と地域住民のふれあいの場を創出	市・地域住民						
	６－２	地域特産物の開発・提供	守る・継ぐ 創る	・観光客の食の楽しみとして、かずら橋ならではの食材などを提供 ・かずら橋キャンプ村での「さるなし」の生産・商品化	市・県・地域住民						リーディング①
	６－３	統一感のある町並みの形成に向けたルールづくりの検討	守る・継ぐ 除く・改善	・かずら橋に訪れる人誰もが目にする今久保集落などにおいて、屋根の色の統一を図るなど、統一感のある町並みの形成に向けたルールづくりを検討	市・地域住民						
	６－４	農家・農業体験、自然体験の強化	創る	・かずら橋周辺の農家民宿を中心に、祖谷の農家・農業が体験できる催し等を企画・運営	市・県・地域住民						
	６－５	多様なイベントの検討	条件整備	・5 月の藤の花、10 月の平家まつり、11 月の紅葉などの見ごろ、訪れ頃の情報発信の強化を図るとともに、多様なイベントの開催等により来訪者の拡大に努める。	市・地域住民						
			条件整備	・写真の撮影スポット等の情報発信を行い、かずら橋を渡るだけでなく、回遊を促す仕組みづくりなども検討	市・地域住民						
	６－６	かずら橋等の地域の歴史に関する情報発信	守る・継ぐ 条件整備	・かずら橋夢舞台において、地域の歴史や文化を学ぶことができる施設の整備を検討。	市・県・地域住民						

プロジェクト	番号	施策	方針	概要	役割分担	実施時期					備考
						～3 年	～5 年	～7 年	～10 年	10～	
⑦おもてなしの心の醸成	7－1	地域イメージを高める観光ガイドの強化	創る	・観光に携わる人々の意識を高めるとともに、観光ボランティア等の養成や組織化を図り、来訪者をもてなす体制の構築を検討	市・地域住民						
	7－2	地域が一体となったもてなしの意識づくり	創る	・観光のもてなしに関する事例紹介や表彰制度の確立等を検討し、地域住民の意識づくりに努める。	市・地域住民						
⑧かずら橋夢舞台のターミナル機能の強化	8－1	かずら橋夢舞台のターミナル機能の強化	条件整備	・かずら橋夢舞台の立地特性を活かし、かずら橋夢舞台をターミナルとしたシャトルバスの検討やレンタサイクル等の取組みの検討。	市・県・地域住民						
	8－2	かずら橋夢舞台のサービス向上	条件整備	・施設内で買い物や食事をした人への駐車料金の割引サービスなどの検討。	市						
	8－3	かずら橋夢舞台の ICT 化	条件整備	・かずら橋夢舞台における観光案内機能を強化するため、施設の ICT 化に取組む。	市・県・国						
⑨周辺の魅力的な資源の発掘･情報発信の強化	9－1	かずら橋周辺の魅力的な資源発掘活動の推進	創る	・かずら橋周辺の観光資源（二重かずら橋や落合集落等）を把握するとともに、新たな名所（眺望点等）を発掘	市・地域住民						
			創る	・名所を巡る観光ルートを検討	市・県・地域住民						
	9－2	情報発信の強化	条件整備	・官民連携のもと、既存の情報発信手段の強化を図るとともに、新たな情報発信手法を調査・研究	市・県・国						